# 日本地震工学会 第10回 通 常 総 会 議 案

第 1	号議	案	平.	成	2 1	年	度事	業	報	告	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
第2	号議	案	平	成	2 1	年	度収	文	決	算	報	告	•		•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•		- !	9
			平	成	2 1	年	度監	査	報	告		•	•		•			•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	18
第3	号議	案	— <u>;</u>	般礼	社団	法	人日	本	地	震	エ	学	会	か	b	の	報	告	•	-	•	•	•	•	•	•		•	19
第4	号議	案	日	本地	地震	I	学会	の	解	散		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	• :	21
第5	号議	案	日	本地	地震	I	学会	の	残	余	財	産	処	分	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	- :	23
資料	. 1	平成	2	1 4	年度	事	業報	告																				• ;	25
資料		法人																											
資料	. 3	平成	2	1 4	年度	組	織図	•		•		•	•		•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	-	67
資料	4	平成	2	1 4	年度	役	員の	分	掌			•	•		•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•		-	69
咨料	. 5	平成	2	1 3	年度	委	昌会	:委	昌	名	籒																	•	71



平成22年5月20日(木) 於:建築会館ホール

日本地震工学会

東京都港区芝 5-26-20 建築会館内 TEL: 03-5730-2831 FAX: 03-5730-2830

### 第1号議案 平成21年度事業報告

「日本地震工学会(JAEE)」は、地震工学および地震防災に関する学術・技術の進歩発展をはかり、もって地震災害の軽減に貢献することを目的として、平成13年(2001年)1月1日に、東京都港区芝5丁目26番20号に事務所をおいて設立された。

平成22年3月31日の時点における会員数は、名誉会員14名、正会員1,135名、学生会員123名、法人会員88団体であった。平成21年4月から平成22年3月に至る平成21年度の本会の事業の概要は以下のとおりである。なお、事業活動の詳細は「平成21年度事業報告書」として資料1に添付している。特に、法人化準備委員会を設置し、平成22年(2010年)2月4日に一般社団法人の登記を完了した。法人化が会員活動に及ぼす変更点を資料2に添付する。また、平成21年度の組織図を資料3、役員分掌を資料4、各委員会の委員名簿を資料5に示す。

### 1. 第9回通常総会の開催

第9回通常総会を平成21年5月21日(木)15:30~17:00に建築会館ホールにて、講演会(「最近の地震被害から学ぶ」と題する講演3題ならびに論文奨励賞受賞者講演)に続いて行った。定足数419名に対して委任状出席を含む出席者は470名であった。

鈴木浩平会長が議長となり、平成20年度事業報告(勝俣理事)、収支決算報告(鈴木(康)理事)、監査報告(工藤監事)がなされ、承認された。続いて、平成20年度役員選挙により、次期会長に久保哲夫氏、副会長に中島正愛氏と東畑郁生氏、監事に井上範夫氏が当選したことが報告され、選任された。

ここで議長を平成 21 年度会長の濱田政則氏に交代した。会長が指名した 8 名の新任理事が選任された。次に役員候補推薦委員会が推薦した新任委員 7 名と補欠委員 1 名が選任された。続いて、新会長が正会員の中から指名した 2 名が選挙管理委員に選任されたほか、理事の中から 2 名が選挙管理委員に指名された。

金子理事より、日本地震工学会規則の改定として、学生会員から正会員への転格者を増し、若手会員の増加を図る目的で、学生会員の年会費を現行3,000円を1,000円に引き下げること、および学生会員から正会員への転格者の初年度の年会費を3,000円とする理事会決議を報告し了承された。

犬飼理事より、一般法人への移行について報告があり、移行計画が議決された。

続いて、平成 21 年度事業計画 (犬飼理事)、収支予算案 (佐藤理事) が説明され、承認 された。

最後に濱田新会長より会長就任の挨拶があった。概要を以下に示す。

日本地震工学会は平成13年の設立より約8年を経過し、まもなく10周目を迎える。この間、歴代会長、副会長、理事、会員の大変なご尽力により学会事業は順調に進展し、組織や制度は整備されてきた。しかしながらその一方で、学会の財政の問題や会員数の維持など改革の必要性も多々生じている。

先ほど一般法人化計画の議案について議決していただいたが、これは日本地震工学会に

おいて新しいフェーズのスタートと考えている。学会設立当初の目標、すなわち地震工学分野の横断的研究を推進することによって関連学協会のリーダー的役割を担うこと、国際的な地震工学分野において我国の代表学会であること、さらに地震災害に対して地域社会に貢献すること、これらを達成するためには法人格の取得が必要不可欠である。

学会の将来の問題については、将来計画検討委員会を通じてこれから10年のあり方を広く会員の意見を取り入れ、それをもとに広範な議論を行い実現可能なものについて実行に移したいと考えている。会長を務めるこの1年間微力を傾注したいので、皆様のご協力をお願いしたい。

### 2. 理事会活動

日本地震工学会の活動を審議するために理事会を 10 回開催した。事務的事項の報告、入 退会者の承認、他学協会からの共催・後援等依頼の承認、および他の議案の審議・議決を行 い、さらに本学会の運営方針について懇談した。なお、理事会の開催日および主な議事は 資料1の事業報告書に記載している。

平成21年度における主な課題への取組みは次のとおりである。

- 1) 副会長の分掌を明確化する(資料4)ことで、理事会の円滑な運営に努めた。
- 2) 法人化取得の第一段階である一般社団法人格取得準備のため、法人化準備委員会を発 足させた。平成22年2月4日に一般社団法人日本地震工学会の登記を完了した。
- 3) IAEE (国際地震工学会) 事務局(事務局長: 芳村学、本会理事) に対してNPO法 人格取得支援等の援助を継続した。
- 4) 平成 22 年度開催予定の第 13 回日本地震工学シンポジウム (13 J EES) の開催に向けて、本会が幹事学会となることから、運営委員会 (委員長:和田章) の活動を支援した。13 J E E S と日本地震工学会設立 10 周年記念事業の関連についても大枠定められた。
- 5) 10 周年記念事業のうち記念式典は、平成23年3月28日(月)午後に建築会館ホールにて、片山恒雄先生に講演をいただくことした。
- 6) 阪神・淡路大震災 15 周年フォーラムの代表学会として共催を地震災害低減に関わる 学協会に呼び掛け、組織委員会、実行委員会設立とその支援を行った。
- 7) 論文集編集委員会で実施している独立行政法人科学技術振興機構(JST)が平成 17年度から行っている電子アーカイブ事業への参画と準備の支援を行った。

### 3. 委員会活動

### (1) 総務部会

会長、次期会長、担当副会長および総務理事で構成する総務部会を理事会が開催されない月に開催し、その時点での会務上の問題点を整理して方針を打ち出し、会務を 遅滞なく遂行することとした。

本会の運営全般について検討、対応した。事業報告書を作成するとともに、平成 22 年度の予算案・役員分掌案について検討した。

設立 10年の節目を迎えること、および法人格の取得を目指すことを踏まえて、平成 21年6月より法人化準備委員会を発足させた。

### (2) 会計部会

事務局の協力のもと毎月、予算管理月報の検討を行い、理事会へ、経過月間および年度当初からの予算執行状況を報告・審議し、財務の健全化を図った。総務部会とともに事務局の協力を得て、平成 21 年度決算報告を行った。また、平成 22 年度収支予算案の作成を行った。

### (3) 役員候補推薦委員会・選挙管理委員会 法人化移行準備のため、本年度の役員選挙は中止した。

### (4) 法人化準備委員会

公益法人制度改革に伴う新制度が平成 20 年 12 月より施行された。第 9 回通常総会での議決を受け、平成 21 年 6 月から委員会を 9 回開催し、一般社団法人日本地震工学会の定款(案)、一般規則(案)、会員規則(案)、財産管理運用規則(案)、総会規則(案)、理事会規則(案)、選挙規程(案)を作成し理事会へ報告した。平成 22 年 2 月 4 日に法人登記完了した。法人化が会員活動に及ぼす影響について資料 2 に示す。

### (5) 会員部会

会員の入退会、管理、会費未納者対応に関する諸活動を行った。

将来の正会員候補である学生会員増強のため学生会員優遇措置として会費の値下げ (年会費 3,000 円を 1,000 円とする)を平成 21 年 6 月より行った。年度末の学生会員 数は 123 名となり、前年度に対し 43 名増となった。今後、卒業後正会員への転格者確 保が課題である。

日本地震工学会大会・優秀論文発表賞の設定した。

和文パンフレットの改訂(500部)、英文パンフレットの改訂(200部)を行った。

### (6) 電子広報委員会

日本地震工学会ホームページの定常的な情報の更新および管理を行った。会員への情報サービスとして、JAEE NEWS(No.184~205)を半月に1度発行し、会員にメール又は郵便にて送付した。また合計 11 回の臨時ニュース配信を行い、臨機応変に情報を提供した。

#### (7)会誌編集委員会

平成21年7月に会誌第10号を、平成22年1月に会誌第11号を、それぞれ刊行した。 第10号では特集記事として、「実大構造物の振動実験による検証」を企画した。第11号では、「長周期地震動の発生と構造物に及ぼす影響」をテーマとした特集を組んだ。

#### (8) 事業企画委員会

1) 通常総会行事関連(平成21年5月21日)

第9回通常総会の行事として「最近の地震被害から学ぶ」と題する講演会を開催した。

2) 技術セミナー・講習会等の開催

技術セミナー、講習会、一般市民向けセミナー、出展を企画・実施して、会員を始めとする研究者・技術者・一般市民等の地震工学および地震防災に関する学術ならびに技術の進歩・発展を図った。開催事業の詳細は資料1に示す。

#### (9) 大会実行委員会

第7回の年次大会「日本地震工学会大会 2010」を平成 21 年 11 月 12 日~14 日の 3 日間の日程で、東京・国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて行った。

発表論文数は 175 編であり、登録参加者数は合計 278 名であった。セッションの概要は資料1の事業報告書に示している。

併せて「地震工学技術フェア」として、地震計をはじめとする最新の地震観測技術 の展示会(企業6社)を開催した。

本年度より新設した優秀論文発表賞を下記の10名に授与した。

三浦 耕太 君(東北大学)

矢島 龍人 君(首都大学東京)

小林 正人 君 (明治大学)

友澤 裕介 君(鹿島建設)

引田 智樹 君 (鹿島建設)

三浦 弘之 君(東京工業大学)

吉敷 祥一 君(東京工業大学)

鴨下 直登 君 (東京工業大学)

坂井 公俊 君(鉄道総合技術研究所)

向坊 恭介 君(京都大学)

### (10) 国際委員会

日本地震工学会の国際的活動の企画・運営および国際交流を図るため以下を行った。

- ・IAEE 事務局および日本代表への支援
- ・海外関係機関との連絡調整

### (11) 論文集編集委員会

平成21年度は4巻の論文集(第9巻第3号~第5号および第10巻第1号)をウェブページ上に順次発行した。また、特集号の企画を行った。

2009 年論文奨励賞の授与式ならびに受賞講演を平成 21 年 5 月 21 日の第 9 回通常総会の前に行った。また、2010 年論文奨励賞の選考を行い、下記の 2 名を理事会に諮り

決定した。

- · 高浜 勉 君 (㈱構造計画研究所)
- ·飯塚 裕暁 君(法政大学)

独立行政法人科学技術振興機構 (JST) が平成 17 年度から行っている創刊号まで遡った電子アーカイブ事業に申請し受理されたため、資料の整理と提出を行った。

#### (12) 研究統括委員会

地震工学分野の調査・研究を進展させ、調査・研究成果を広く国内外に還元して社会の地震防災性向上に関する事項、および各研究委員会設立、目的達成のための活動に対する評価、助言、指導に関する事項として下記を実施した。

- 各研究委員会の活動活発化の支援
- ・新規研究委員会の設立(本年度において、新規研究委員会の設立は行えなかった。)
- ・海外での地震発生時における地震災害対応委員会のサポート
- 1) 地震災害対応委員会(常設)(中埜良昭委員長)

国内外の大地震発生時における災害調査支援、情報収集支援、調査報告会開催、各 学会調査の調整、突発災害調査費申請支援として下記を実施した。

- ・ラクイラ地震・スマトラ沖地震・チリ地震における、他学会と合同調査団の派遣と 報告会の実施
- ・地震被害情報、派遣等の情報のHPでの発信
- 2) 研究委員会の活動支援

平成21年度に活動を行った研究委員会は下記のとおりである。

a) 地震被害・復興の記録のアーカイブス構築のための研究委員会(平成20年5月~ 平成23年5月、委員長:小長井一男)

地震被害と復興に関するデータの集約 (調査) やメッセージ発信のあり方を検討。 国内外へアーカイブス構築の雛形を示すため下記を行った。

- ・各地震によって引き起こされた、短期的、長期的課題の抽出:関東地震を含む 地震被害報告の原資料の読み解きの過誤、地盤データ情報の集約の実態と課題 (品質保証、メンテナンスの問題) (90%)
- ・海外の地震災害調査と復興支援の課題の検討(50%)
- ・活動計画(講習会、ウェブサイト構築など)の策定(70%)
- b) 津波災害の実務的な軽減方策に関する研究委員会(平成20年6月~平成22年5月、 委員長:松冨英夫)

防災施設を中心に据えて、津波災害の軽減方策の研究・提案として下記を行った。

- ・年次大会でのオーガナイズド・セッション開催
- ・津波対策施設(和歌山県)の視察
- c) 原子力発電所の地震安全問題に関する調査委員会 (平成 20 年 10 月~平成 23 年 3

月、委員長:亀田弘行)

原子力発電所全体の最適地震安全性の実現、ロードマップの作成として以下を行った。

- ・「最適な地震安全性をどのように実現していくべきか」のテーマでワークショ ップを開催
- d) 微動利用技術研究委員会(平成20年12月~平成22年11月、委員長:森伸一郎) 地盤、土木、建築の各分野での実務への普及を目指して、現状での微動利用技術 の実用上の適用性と要求事項を明らかにするために下記を実施した。
  - ・2008年度に収集した文献リストを参考に、話題提供(関西の超高密度微動特性、 H/Vの頑健性、微動のスペクトル表現、地震計の仕組みと性能限界)による理解の共有
  - ・微動利用ガイドライン素案、利用実態調査、同一地点観測に関する議論・意見 交換による目標の共有化
  - ・地盤、土木構造、建築構造のWGを設置し、文献調査とガイドラインの要件の 検討
- e) 災害リモートセンシング技術の標準化と高度化に関する研究委員会(平成21年4 月~平成24年3月、委員長:松岡昌志)

リモートセンシング画像やハザード情報の標準化及び調査写真などのアーカイブ化に関する議論を行うために下記を実施した。

- ・最新の研究動向に関する情報・意見交換
- ・第7回国際ワークショップに参加し、海外研究者との情報交換
- ・2010 年ハイチ地震でのリモートセンシング技術を用いた被害判読プロジェクト に参加し、被害分布の早期把握に貢献

#### (13) 第13回日本地震工学シンポジウム関係

第 13 回日本地震工学シンポジウムは本会を幹事学会として平成 22 年度に開催する予定であるため、関連学会に共催を呼びかけるとともに運営委員会(委員長:和田章氏(東京工業大学))を 3 回開催し、以下を行った。

- ・13JEES運営委員担当と開催日程、開催会場の決定
- シンポジウムでの企画について

(特別セッション、特別講演、PD、早わかり講座、展示、懇親会)

#### (14) 阪神・淡路大震災15周年シンポジウム関係

阪神・淡路大震災から 15 年を契機に、「学協会はこの 15 年間どのような活動を展開し、どのように社会の地震災害の軽減に貢献して来たのか」、「学協会の活動として不十分であった課題は何か」、「将来の地震対策のために学協会に求められていることは何か」、さらに、「地域社会との連携のあり方」を問い、新たな活動の方向性を見出し、必要な調査・研究活動を行って、わが国はもとより世界の地震災害軽減に貢献することが学協会に求められている。

このため、地震災害軽減に関係する学協会が共催し、学協会の会員のみならず地域

の市民や行政、建設に係わる方々の参加を得て、フォーラムを開催し、地震災害軽減 に向けた課題、学協会の果すべき役割と地域社会との連携のあり方、および学協会の 協働のあり方を検討し、これらをとりまとめ、社会へ発信する。

以上のフォーラム開催主旨のもと、本学会が共催を呼び掛け、地震災害低減に関わる 14 学協会共催でフォーラム組織委員会 (委員長:鈴木祥之)、フォーラム実行委員会 (委員長:高田至郎) を組織した。平成 22 年 1 月 18 日に神戸国際会議場メインホールにて フォーラムを開催し約 550 名の参加者を得て盛会のうち終了した。プログラム等の詳細 は資料 1 の 7.3 本会開催事業に示す。

### 4. 他学会との交流

共催 4 件、後援 12 件、協賛 5 件を承認した。具体的な内容は資料 1 の事業報告書に記載 している。

### 5. その他

### (1) 基金の取り崩し

地震災害調査基金より 56 万円を取り崩し、イタリア・ラクイラ地震および 2009 年スマトラ島パダン沖地震の災害調査活動を援助した。

### (2) 対外的意見の表明

総務省消防局よりの「震度情報ネットワークの更新」に関する要望募集に対し、濱田会長名で学会としての意見を回答した(平成21年6月26日)

# 第2号議案 平成21年度収支決算報告

平成 21 年度収支決算、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録を以下に示す。 なお、平成 21 年度は地震災害調査基金のうち、56 万円を取り崩し、2009 年①イタリア・ ラクイラ地震に関する合同調査団及び②2009 年インドネシア災害復旧協力チーム合同調査 団の災害調査に支援に充当した。2 件の地震災害調査基金申請書を併せて示す。

# 平成21年度 日本地震工学会収支決算書(案)

平成21年 4月 1日から平成22年 3月31日まで

### 一般会計

科目	予算額	決算額	差異	備考	科目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部	) <del>)                                    </del>	7\ <del>7</del> F 4X	<u> </u>	Vitti 73	15 周 年 記 念 事 業 費 支 出	3, 730, 000	3, 705, 172	24, 828	
1. 事業活動収入					会議費支出	470, 000	461, 279		会議費
入会金収入	50, 000	42, 000	8, 000		旅費交通費支出	720, 000	719, 874	126	旅費
正会員入会金収入	50, 000	42, 000	8 000	新規入会	印刷製本費支出	1, 470, 000	1, 459, 665	10 225	資料印刷製本費
会費収入	17, 770, 000	16, 560, 000	1, 210, 000	机烷八五	会場使用料支出	630, 000	626, 353	3 647	企画事業会場費
正会員会費収入	12, 000, 000	11, 442, 000	558, 000	(4/1現在1135名)	雑支出	440, 000	438, 001	1, 999	上四争未云场其
学生会員会費収入	270, 000	218, 000	52, 000		I T 事業費支出	1, 600, 000	1, 569, 780	30, 220	
							1, 309, 760	30, ZZ0 10, 400	<b>△=</b> ≠ 曲
法人会員会費収入	5, 500, 000	4, 900, 000	600, 000	(4/1現在88団体)	会議費支出	100, 000	87, 520	12, 480	会議費
一般事業収入	1, 040, 000	705, 940	334, 060	-A -L # 10.7÷ vol de 3	旅費交通費支出	30,000	27, 040	2, 960	旅賀 
論文投稿料収入	800, 000	460, 000	340, 000	論文集投稿料収入	サーバー関連費支出	265, 000	254, 100	10, 900	維持費
調査研究収入	40, 000	25, 940	14, 060	会誌広告収入	委託費支出	1, 205, 000	1, 201, 120	3, 880	システム維持, web維持
広報収入	200, 000	220, 000	-20, 000	研究委員会主催行事収入	10 周 年 記 念 事 業 支 出	65, 000	64, 350	650	
企 画 事 業 収入	2, 670, 000	799, 738	1, 870, 262		会議費	65, 000	64, 350	650	
参加費収入	2, 570, 000	799, 738	1, 770, 262	資料販売	年次大会事業費	3, 440, 000	2, 187, 132	1, 252, 868	
その他雑収入	100, 000	0	100, 000	セミナー、講演会等参加費	会議費支出	300, 000	270, 260	29, 740	会議費
年次大会事業収入	3, 440, 000	2, 306, 080	1, 133, 920		印刷製本費支出	1, 000, 000	941, 667	58, 333	大会梗概集印刷製本費
展示出展収入	1, 250, 000	540, 000	710, 000	地震工学フェア	会場使用料支出	550, 000	328, 410	221, 590	会場費:備品費:看板代等
参加費収入	1, 890, 000	1, 612, 080	277, 920	大会参加費	雑支出	790, 000	54, 055	735, 945	アルバイト他
懇親会収入	300, 000	154, 000	146, 000	懇親会参加費	懇親会費	301, 000	300, 210	790	懇親会開催費
15周年地震工学記念事業収入	1, 100, 000	218, 000	882 000		展示事業費	499, 000	292, 530	206, 470	地震工学フェア
資料頒布収入	500, 000	0	500, 000	資料販売	管 理 費 支 出	11, 410, 000	10, 004, 473	1, 405, 527	
参加費収入	600, 000	48, 000	552, 000	見学会	給料手当支出	5, 100, 000	4, 878, 842		事務局職員, アルバイト
懇親会収入	0	170, 000	-170, 000	70.1 22	通信運搬費支出	260, 000	254, 086	5 914	電話代, 資料発送費, 切手代等
補助金等収入	0	1, 453, 000	-1, 453, 000	肋成金	税理士報酬	400, 000	378, 210	21 790	税理士・監事監査費、会計ソフ
寄付金収入	300, 000	300, 000	1, 100, 000	JEES運営管理費	消耗品費支出	900, 000	798, 677	101 323	コピー機リース費等
雑収入	130, 000	153, 504	-23, 504	ULL3连占占任具	賃借料支出	1, 850, 000	1, 800, 751	101, 020	家賃、共益費、光熱費等
受取利息収入	130,000	6, 724	-6, 724		理事会費支出	900, 000	890, 007	9, 993	<u> </u>
その他雑収入	130, 000	146, 780		過去の資料販売収入	会議費	430, 000	429, 647	353	
事業活動収入計	26, 500, 000	22, 538, 262	3, 961, 738	- 週本の貝科販売収入	大概員 旅費交通費	470, 000	460, 360	9. 640	
	20, 300, 000	22, 550, 202	J, 901, 730		総会費支出	400, 000	337, 668		
2. 事業活動支出 事 業 費 支 出	17 725 000	10 CEA 010	4 000 607		松云其又山	400, 000	337,000	62, 332	会議室、旅費、コピー他
事業費支出	17, 735, 000	13, 654, 313	4, 080, 687		会議費		337, 668	62, 332	
論文事業費支出	1, 070, 000		266, 838	ラ:: * // //図 o ロ \	法人化検討支出	450, 000	176, 100	273, 900	法人登録の諸費用
雑給支出	610, 000	605, 650	4, 350	アルバイト(週2日)	選挙管理費支出	280, 000	49, 495	230, 505	会議費, 郵送費
会議費支出	160, 000	38, 062	121, 938	会議費	役員推薦委支出	220, 000	050 500	220, 000	A # = + D # A # = + C # D
雑支出	300, 000	159, 450	140, 550	派費	会員関連費支出	520, 000	353, 580	166, 420	会費請求費, 名簿更新費
会誌事業費支出	2, 220, 000	1, 978, 045	241, 955		雑支出	130, 000	87, 057	42, 943	銀行手数料, 清掃費等
会議費支出	120, 000	74, 299	45, /01	会議費,取材費,旅費	事業活動支出計	29, 145, 000	23, 658, 786	5, 486, 214	
通信運搬費支出	480, 000		160, 389	年2回発送	事業活動収支差額	-2, 645, 000	-1, 120, 524	-1, 524, 476	
印刷製本費支出	1, 600, 000	1, 584, 135	15, 865	年2回発行	Ⅱ 投資活動収支の部				
委託費支出	20, 000		20, 000		1. 投資活動収入				
広報事業費支出	300, 000		16, 080		特定資産取崩収	15, 500, 000	17, 010, 000	-1, 510, 000	
印刷製本費支出	300, 000		16, 080	和文,英文パンフレット	法人化積立引当資産取崩収入	15, 000, 000	15, 000, 000	0	特別事業基金へ充当
国際交流事業費支出	520, 000	0	520, 000		地震災害調査引当資産取崩収入	0	560, 000	-560, 000	スマトラ沖・ラクイラ地震調査
会議費支出	220, 000	0	220, 000		特別事業基金取崩収入	500, 000	1, 450, 000	<u>-95</u> 0, 000	15周年記念事業
海外広報費	100, 000	0	100, 000		投資活動収入計	15, 500, 000	17, 010, 000	-1, 510, 000	
I A E E 支援費	200, 000	0	200, 000		2. 投資活動支出				
調査研究事業費支出	1, 920, 000	1, 850, 264	69, 736		特定資産取得支出	15, 500, 000	15, 500, 000	0	
会議費支出	855, 000	797, 609	57, 391	会議費4委+1委	地震災害調査引当資産取得支出	500, 000	500, 000	0	H20年度末で142万円
消耗品費支出	400, 000	396, 632	3, 368	事務消耗品	特別事業基金引当資産取得支出	15, 000, 000	15, 000, 000		H20年度末で1355万円
講師謝金支出	25, 000	22, 222	2, 778	講師謝礼	投資活動支出計	15, 500, 000	15, 500, 000		事業運営基金今期末で40万円
地震災害対応委	640, 000	633, 801	6. 199	スマトラ沖・ラクイラ地震対	投資活動収支差額	0	1, 510, 000		今期末では基金取崩収
表彰関係事業費支出	200, 000	125, 265	74, 735		Ⅲ 財務活動収支の部		, ,	, ,	7 797010 (10.12.12.1907)) 190
会議費支出	50, 000	0		会議費, 旅費	1. 財務活動収入				
印刷製本費支出	150, 000	125, 265	24 735	論文奨励賞, 若手表彰	財務活動収入計	n	n	n	
企画事業費支出	2, 670, 000		1, 582, 777	4mu / 1 / / / / / / / / / / / / / / / / /	2. 財務活動支出		<u> </u>		
会議費支出	720, 000	205, 611	51/ 320	会議費,旅費,印刷費	財務活動支出計	n	n	n	
	310, 000	307, 980	2 020	玄磯貝,水貝,印柳貝    講師旅費	財務活動収支差額	0	0	0	
印刷製本費支出	340, 000	007, <del>3</del> 00	2, 020 2/10 000	」 一資料印刷製本費	IV 予備費支出	6, 518, 875		3, 873, 875	
会場使用料支出	500, 000	408, 829	040, 000 01 171	真科印刷器本質  会場費	予備費 から振替	-2, 645, 000	<b>-</b>	3, 073, 073	
			91, 1/1 E00, 004	本			200 470	6 000 251	<b>文 供弗加士关</b> 校
講師謝金支出	600, 000	66, 666		講師謝礼	当期収支差額	-6, 518, 875 6, 519, 975	389, 476	-0, 908, 35T	予備費収支差額
雑支出	100,000			アルバイト代等	前期繰越収支差額	6, 518, 875	6, 518, 875	0 000 051	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
他団体共催事業費	100, 000	15, 000	85, 000		次期繰越収支差額	0]	6, 908, 351	-6, 908, 351	次期繰越金

# 貸借対照表総括表

平成22年 3月31日現在

### 日本地震工学会

・ 向几 人 辛	L
一加云百	Γ

	科		目				一般会計	合 計
I 資産の部								
1. 流動資産								
現金預金	È						5, 422, 861	5, 422, 861
現						金	3, 081	3, 081
普	j	通	預	į		金	4, 043, 480	4, 043, 480
郵	便	振	替		口	座	1, 376, 300	1, 376, 300
<u> 77.</u>		替				金	548, 290	548, 290
短	期	貸		付		金	801, 000	801, 000
仮		払				金	300, 200	300, 200
流動資産	計						7, 072, 351	7, 072, 351
2. 固定資産								
(2) 特定資産								
地震	災 害	調	査 引	当	資	産	1, 420, 000	1, 420, 000
事業	運 営	基金	金 引	当	資	産	400, 000	400, 000
特別	事 業	基金	金 引	当	資	産	13, 550, 000	13, 550, 000
特定資産金	計						15, 370, 000	15, 370, 000
(3) その他固知	官資産							
什	器		備				718, 106	718, 106
敷						金	726, 768	726, 768
その他固定	官資産合	十					1, 444, 874	1, 444, 874
固定資産金	計						16, 814, 874	16, 814, 874
資産合計							23, 887, 225	23, 887, 225
Ⅱ 負債の部								
1. 流動負債								
未		払				金	120, 000	120, 000
前	受		会			費	44, 000	44, 000
流動負債金	計						164, 000	164, 000
負債合計							164, 000	164, 000
Ⅲ 正味財産の部								
1. 指定正味財產	É							
指定正味則	才産合計						0	0
2. 一般正味財產	Ě						23, 723, 225	23, 723, 225
(うち	基本則	産	への充	当	額)		7, 179, 772	7, 179, 772
(うち	特定資	産	への充	当	額)		16, 100, 000	16, 100, 000
正味財産合	計						23, 723, 225	23, 723, 225
負債及び正	E味財産	合計					23, 887, 225	23, 887, 225

# 正味財産増減計算書総括表

平成21年 4月 1日から平成22年 3月31日まで

### 日本地震工学会

一般会計

/3	以云口			科	目				一般会計	合 計
Ι	一彤	设正明	<b></b>	の部						
	1. 終	<b>圣</b> 常均	曽減の部							
	(1)	経常	常収益							
		受	取		入	숲	<u> </u>	金	42, 000	42,000
		受		取		会		費	16, 560, 000	16, 560, 000
		_	般	事	業		収	益	705, 940	705, 940
		企	画	事	業		収	益	799, 738	799, 738
		年	次 大	: 会	事	業	7[7	益 益	2, 306, 086	2, 306, 080
		地	震 工	学 記	念 事	業	収	益	218, 000	218, 000
		受	取	補	助		金	等	1, 453, 000	1, 453, 000
		受	取		寄	仁	ţ	金	300, 000	300, 000
		雑			収			益	153, 50 <sub>4</sub>	153, 504
			常収益計						22, 538, 265	22, 538, 262
	(2)		常費用							
		事			業			費	13, 654, 313	
		管			理			費	10, 367, 86	
			常費用計						24, 022, 180	
			当期経常増						-1, 483, 918	-1, 483, 918
2			ト増減の部	ζ						
	(1)		常外収益 (*/1/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/							
	(-)		常外収益計	•						0
	(2)		常外費用	\/ <del>fic*</del>	~**	7/	±π	<b>⊥</b> □	107 50	107 500
		固	定数典用到		産	除	却	損	107, 520	
			常外費用計 以期忽常が						107, 520	
			当期経常外 当期一般正		<b>单</b> 活起				-107, 520	
									-1, 591, 44	
			-般正味則 -般正味則						25, 314, 669 23, 723, 229	
п	七分				<b>天</b> 同				23, 123, 223	23, 123, 220
111	<ul><li>Ⅱ 指定正味財産増減の部</li><li>当期指定正味財産増減額</li></ul>								0	
										0 0
	指定正味財産期首残高 指定正味財産期末残高								0	
Ш	正明		E期末残高		24104				23, 723, 22	
ш_	ا⁄: سلد	トハナ	<b>□/</b> ////   □.	,					20, 120, 22	1 20, 120, 220

# 財産目録総括表

平成22年 3月31日現在

### 日本地震工学会

一般会計

科目	一般会計	合 計
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	5, 422, 861	5, 422, 861
現金手許有高	3, 081	3, 081
普 通 預 金	4, 043, 480	4, 043, 480
三菱東京UFJ銀行・田町支店 №.1629380	4, 043, 480	4, 043, 480
郵 便 振 替 口 座	1, 376, 300	1, 376, 300
立	548, 290	548, 290
短 期 貸 付 金	801, 000	801, 000
仮 払 金	300, 200	300, 200
流動資産合計	7, 072, 351	7, 072, 351
2. 固定資産		
(2) 特定資産		
地震災害調査引当資産	1, 420, 000	1, 420, 000
三井住友銀行・三田支店 No.8017725	1, 420, 000	1, 420, 000
事業運営基金引当資産	400, 000	400, 000
三菱東京UFJ銀行・田町支店 №246315	400, 000	400, 000
特別事業基金引当資産	13, 550, 000	13, 550, 000
三井住友銀行·三田支店 No.7834051	13, 550, 000	13, 550, 000
特定資産合計	15, 370, 000	15, 370, 000
(3) その他固定資産		
什 器 備 品	718, 106	718, 106
敷	726, 768	726, 768
その他固定資産合計	1, 444, 874	1, 444, 874
固定資産合計	16, 814, 874	16, 814, 874
資産合計	23, 887, 225	23, 887, 225
Ⅱ 負債の部		
1. 流動負債		
未 払 金	120, 000	120,000
前 受 会 費	44, 000	44, 000
正会員	44,000	44, 000
流動負債合計	164, 000	164, 000
負債合計	164, 000	164, 000
正味財産	23, 723, 225	23, 723, 225

# 平成21年度 日本地震工学会 地震災害調査 基金申請書

2010年2月24日

					2010年2月24日				
申請事業名			震に関する調査  猛工学会・日本建						
申 請 者	地震災害	<u>対応委員会</u>	<u>委員長</u>	委員長 中埜良昭					
申請事項	① 災害派 2. 招聘 3. 委員会が 4. その他	_ ,,		支援希望額	240,000円				
1. 全体事業	内容	4月6日にイタリア中部ラクイラにおいて発生したマグニチュード6.3の地震により多数の犠牲者を出すなど大きな地震災害が発生した。防災に関する4学会により共同で調査団を派遣することとした。団長川島一彦(本会元副会長・東京工業大学)他、各団体より団員を構成、本会団員として青木孝義先生(名古屋市立大学准教授)を派遣することとし、現地調査に対応いただくこととした。							
2. 全体の総-	予算金額	248, 4	70 円						
3. 支援費目 希望金額		・青木孝義団員の現地までの往復交通費及び報告会開催の旅費とする。 (現地イタリア・ラクイラまでの <b>往復交通費 226,910 円</b> 、5月1日報告会開催の旅費 21,560 円) 合計 248,470 円のうち 240,000 円 なお、団体団員の派遣費について各々の団体が負担する。なお端数金額 8,470 円は地震災害対応委員会支出とする。 合計金額 240,000円							
4. 実施期日		2009年4月	18日(日)~4月25	5日(火)					
5. 実施結果	:	各4学会合同調査団から見た被災状況を視察した。 現地調査では、構造物の設計図書や図面を持たない外観からの被 害調査であったこと、ラクイラ旧市街地をはじめ周辺の被害地域 は行政機関による封鎖のため調査には困難を極めたが、団員の熱 心な調査により被害の実態が把握されることができた。 なおその成果は、2009年5月1日開催の被害調査報告会にて発表 された。							
6. その他									

平成21年4月16日理事会承認

# 平成21年度 日本地震工学会 地震災害調査 基金申請書

2010年2月24日

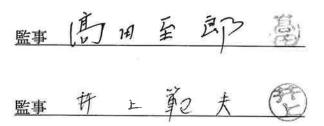
					2010年2月24日			
申請事業名	-		害復旧協力チーム  国境なき技師団		団)			
申 請 者	地震災害	等対応委員 <u>会</u>	<u>委員長</u>	· 中埜良昭				
申請事項	① 災害派 2. 招聘 3. 委員会か 4. その他			支援希望額	320,000円			
1. 全体事業	色内容	は、2009年スー 復旧、および初 調査を目的とし することとした なお、日本は スマトラ地震)	マトラ島パダン対 皮災地域の復旧に して共同調査チー た。	中の地震による社 に関する技術協力 一ムをインドネミ 地震災害対応で つることにした。	人「国境なき技師団」 被災構造物の診断と 力を行うための一次 ンアパダン市に派遣 本部(サモア地震、			
2. 全体の総	予算金額		321,671 円					
3. 支援費目 希望金額		<ul> <li>・第一次協力復興支援チーム派遣の現地調査共通経費</li> <li>・(日本地震工学会の分担金、272,011 円のうち 271,000 円)</li> <li>・報告会開催(10/29) 旅費 2 名 (岸本一蔵先生、真田靖士先生 49,660 円のうち 49,000 円)</li> <li>・端数金額 1,671 円は地震災害対応委員会支出とする。</li> </ul>						
		合計金額	320,000円					
4. 実施期日		2009年10月15日(木)~10月20日(火)						
5. 実施結果	1	協力活動の目標として以下の3項目 ・被災構造物の応急診断と復旧方針の検討 ・被災地域の復興に関する基本方針策定への協力 ・中・長期的技術協力のあり方の検討 が達成された。 なおその成果は、2009年10月29日開催の被害調査報告会にて発表された。						
6. その他								

平成21年10月5日メール通信にて承認

# 会計監査報告書

平成 22 年 4 月 23 日

日本地震工学会会長濱田政則殿



日本地震工学会規約第34条により、平成21年度収支決算及び財産目録について、 下記書類により監査の結果、別紙決算書は、適正に表示され、年度内会計処理が正確に 実施されたことを証明致します。

### 【監査書類】

- 1. 貸借対照表
- 2. 収支計算書
- 3. 財産目録
- 4. 預金残高証明書

以上

### 第3号議案 一般社団法人日本地震工学会からの報告

一般社団法人 代表理事 濱田政則

### 1. 設立の経緯

(1) 設立申請

平成22年2月4日、濱田政則、久保哲夫、武村雅之、犬飼伴幸が発起人となり、 一般社団法人日本地震工学会の設立申請を行った。

- (2) 設立認可
  - 一般社団法人日本地震工学会の設立(設立日:平成22年2月4日)が認可された。

### 2. 一般社団法人日本地震工学会臨時理事会

(1) 日 時:平成22年5月6日

(2) 開催場所:建築会館

(3) 出席者:濱田政則(一般社団法人発起人)

久保哲夫 (同上)

武村雅之(同上)

犬飼伴幸 (同上)

### (4) 議決事項

- イ)任意団体日本地震工学会の平成22年5月6日現在の会員全員(正会員1140名、学生会員117名、法人会員88団体)を、一般社団法人日本地震工学会の定款の第6条の定めに従って、一般社団法人の会員として入会を認める。新会員の権利の発効は平成22年5月20日に開催される第1回一般社団法人日本地震工学会の総会後とする。
- 口) 平成22年5月20日に開催される任意団体日本地震工学会の総会への出席者、一般社団法人日本地震工学会の理事・監事候補者に予定されている者、平成22年度一般社団法人日本地震工学会の役員候補推薦委員会委員および同選挙管理委員会委員の候補者に予定されている者は、一般社団法人日本地震工学会会員としての権利(総会での議決権)を平成22年5月20日開催の一般社団法人の総会より行使することができる。

### 第4号議案 日本地震工学会の解散

第3号議案「一般社団法人日本地震工学会からの報告」で報告されたように、任意団体 日本地震工学会のすべての会員の一般社団法人日本地震工学会への入会が承認されており ます。これを受けて任意団体である日本地震工学会の解散を諮ります。解散日は、残余財 産処分等の手続き完了2週間後とします。

本会規約第38条第1項において、本会の解散は、理事会および総会において、おのおの 出席者の4分の3以上の議決を経なければならないとなっております。

平成22年5月7日開催の第87回理事会において、本会の解散は議決されました。 本会の平成22年度事業および予算と支出は、4月1日に遡って一般社団法人日本地震工 学会に引き継がれます。

## 第5号議案 日本地震工学会の残余財産の処分

本会の解散に伴う残余財産を一般社団法人日本地震工学会へ寄付することを諮ります。 本会規約第38条第1項において、本会の解散は、理事会および総会において、おのおの 出席者の4分の3以上の議決を経なければならない。

2.解散に伴う残余財産の処分は、前項による議決を経て、この会の目的に類似の公益事業に寄付するものとするとなっております。

本会の解散に伴う残余財産の処分は、平成 22 年 5 月 7 日開催の第 87 回理事会において 議決されております。

# 平成21年度 事業報告書

自 平成21年4月 1日

至 平成22年3月31日

# 日本地震工学会

〒108-0014 東京都港区芝 5 丁目 26 番 20 号

URL : http://www.jaee.gr.jp/

# 目 次

1.	会議		1
	1. 1	総会	
	1.2	理事会	
	1.3	法人化準備委員会	
	1.4	主要会務	
2.	大会		20
	2. 1	概要	
		学術講演会セッション	
3.	表彰		22
•		論文奨励賞	
		優秀論文発表賞	
4		ニュース配信	23
1.		会誌	20
		ニュース配信	
5			25
υ.		論文集	20
		大会学術講演集	
c			26
о.		活動	26
		会務関係	
		会員関係	
		学術関係	
		情報関係	
		事業関係	
		調査研究関係	
		共催団体関係	
		災害調査派遣	
		災害調査報告会	
7.	事業報	ł告(講習会·講演会·セミナー·見学会等)	31
	7. 1	研究委員会主催	
	7. 2	事業企画委員会主催	
	7.3	本会共催事業	
	7.4	本会後援・協賛事業	
8.	国際交	:流事業	33
	8. 1	国際交流事業	
9.	建策•	進言・要望・提言	33
		書・資料集	34
		し会誌・報告書・資料集	
11		の動向	34
		L 会員数移動	01
		2 名誉会員	
10		: 石宮云貝 監査会に関する事項	3E
		监査云に関りる事項 说理士定期監査に関する事項	
		光圧工足期監査に関りる事項	
ΙÜ	. 役員	<del></del>	36

# 1. 会議

### 1.1 総会

開催年月日 場 所		主要議事
2009. 5. 21	第1号議案	平成 20 年度事業報告案承認議決
建築会館ホール	第2号議案	平成 20 年度収支決算報告案承認議決
	第3号議案	平成 21 年度次期会長・副会長・監事選挙結果報告案承認議決
	第 4 号議案	平成 21 年度役員の選任案承認議決
	第5号議案	平成 21 年度役員候補推薦委員会委員の選任案承認議決
	第6号議案	平成 21 年度選挙管理委員会委員の選任案承認議決
	第7号議案	日本地震工学会規則の改定案承認議決
	第8号議案	一般法人への移行計画案承認議決
	第9号議案	平成 21 年度事業計画案承認議決
	第 10 号議案	平成 21 年度収支予算案承認議決

# 1.2 理事会

1.2 连事云							
開催年月日場 所	主要議事						
第76回	議案						
2009. 4. 16	1. 第75回理事会議事録案承認						
建築会館	会者退会者および除名者修正承認可決						
301会議室	3.共催・後援・協賛承認可決						
	4.平成20年度決算案、平成21年度予算案承認可決						
	5.第9回通常総会議案承認可決						
	6.委員委嘱承認可決						
	7.地震災害対応規程改定承認可決						
	報告・懇談事項						
	1.会務報告						
	2.会計監查報告						
	3.役員名簿の変更案報告						
	4.役員選挙結果報告						
	5.次期理事候補者と役員分掌案報告						
	6.次期選挙管理委員会委員候補者報告						
	7.次期役員候補推薦委員会候補者報告						
	8.行事開催報告・研究委員会報告書						
	9.イタリア地震調査団派遣報告						
	10.14WCEE展示パネル紹介報告						
	11.法人化積立金の廃止と特別事業積立金の設立について懇談						
	12.第9回通常総会の進め方について懇談						
	13.将来計画検討委員会報告書(案)報告						
	14.学生会員の会費見直しについて懇談						
	15.日本地震工学シンポジウムと設立10周年事業開催について懇談						
	16.阪神・淡路大震災15年特別企画事業について懇談						

<b>第77</b> 同	<b>送安</b>
第77回	<b>議案</b>
2009. 5. 7	1. 第76回理事会議事録案承認可決
建築会館	2.入会者退会者承認可決
301会議室	3.共催・後援・協賛承認可決
	4.法人化積立金の廃止と特別事業積立金の設立承認可決
	5.学生会員の会費見直し承認可決
	6.次期役員候補推薦委員会委員承認可決
	7.委員会委員委嘱承認可決
	報告・懇談事項
	1. 会務報告
	2. 会計監査報告
	3.行事開催報告
	4.イタリア地震調査速報会開催報告
	5.第9回通常総会の進め方について報告
	6.法人化準備委員会の設立について報告
	7.電子広報委員会報告
	8.第13回日本地震工学シンポジウムと設立10周年事業開催について報告
	9.2009年度大会開催について報告
	10.阪神・淡路大震災15年特別企画事業開催について懇談
	11.0新規行事の企画について懇談
	12.研究委員会活動報告及びホームページでの活動について報告
	13.理事交代にあたっての引継ぎについて報告
	14.日本学術会議からの依頼について報告
第78回	議案
2009.6.4	1. 第77回理事会議事録案承認
建築会館	2.第9回通常総会議事録案承認可決
301会議室	3. 入会者退会者承認可決
	4. 委員委嘱承認可決
	5.共催・後援・協賛承認可決
	報告・懇談事項
	1.会務報告
	2.会計監査報告
	3.平成21年度活動計画(案)について懇談
	4.2009年度大会開催計画案及び大会論文募集案内について報告
	5. 第13回日本地震工学シンポジウムと設立10周年事業開催について報告
	6.阪神・淡路大震災15年特別企画事業開催について懇談
	7.本会旧サーバーの売却について報告
	8.平成21年度新規行事の企画について懇談
	9.役員名簿・緊急連絡先の確認報告
	7. 区员有得一宗心是相允少唯邮报日
第79回	議案
2009.7.31	1. 第78回理事会議事録案承認
建築会館	2. 入会者退会者承認可決
301会議室	3. 委員委嘱承認可決
COLD PINI	4. 協賛承認可決
i .	10 MV 24/17 PD 17 LV

	報告・懇談事項
	1.会務報告
	2.会計監査報告
	3.総務省消防庁要望書について報告
	4.災害派遣の現場から学ぶリスクマネジメント講座開催報告
	5.会誌No.10号発刊について報告
	6.平成21年度猿橋賞応募について懇談
	7.JST電子アーカイブ事業について懇談
	8.web編集担当者について報告
	9.法人化準備委員会開催報告
	10.2009年度大会開催計画案及び大会論文募集案内について報告
	11.若手を対象とした優秀論文発表賞について懇談
	12.第13回日本地震工学シンポジウムと設立10周年事業開催について報告
	13.阪神・淡路大震災15年特別企画事業開催について懇談
	14.平成21年度新規行事の企画について報告
	15.研究統括委員会からの提案について懇談
	16.本会パンフレットの改定について報告
	17.本会論文集投稿規程等の一部修正について懇談
第80回	議案
2009.9.18	1. 第79回理事会議事録案承認
建築会館	2. 入会者退会者承認可決
301会議室	報告・懇談事項
	1.会務報告
	2.会計監査報告
	3.本会創設10周年記念事業開催について懇談
	4.2009年度大会開催計画案及び大会論文募集案内について報告
	5.若手を対象とした優秀論文発表賞について懇談
	6.平成21年度新規行事の企画について懇談
	7.阪神・淡路大震災15年特別企画事業開催について懇談
	8.法人化準備委員会開催報告
	9.研究委員会開催報告(事業企画委員会・国際委員会・電子広報委員会)
	10.新規研究委員会申請について懇談
	11. 五学会連合浜岡原発見学会開催共同利用・共同研究拠点認定報告
第81回	議案
2009.10.27	1. 第80回理事会議事録案承認
建築会館	2. 入会者退会者承認可決
301会議室	3.委員委嘱承認可決
	4.予算流用承認可決
	5.後援承認可決
	報告・懇談事項
	1.世界地震工学会(IAEE)総会の報告
	2.会務報告
	3.会計報告
	4.論文集のアーカイブ化について報告

	5.地震災害対応委員会からの報告
	6.第13回日本地震工学シンポジウム論文の扱いについて報告
	7.2009年度大会・若手を対象とした優秀論文発表賞について懇談
	8.会費未納者の対応について懇談
	9.平成21年度新規企画事業について報告
	10.法人化準備委員会開催報告
	11.トルコ大学学長から濱田会長への申し入れについて報告
	12.平成 21 年度予算の修正について懇談
第82回	議案
2009.11.24	1.第81回理事会議事録案承認
建築会館	2.入会者退会者承認可決
301会議室	報告・懇談事項
	1.会務報告
	2.会計監査報告
	3.2009 年度大会(東京)開催(速報)報告
	4.第13回日本地震工学シンポジウムについて報告
	5.若手を対象とした優秀論文発表賞について報告
	6.事業企画委員会開催報告
	7.法人化準備委員会開催報告
	①定款(案)規則・規程の構成(案)
	②一般社団法人日本地震工学会の設立に向けて
	③法人化説明会資料抜粋の説明
	8.阪神・淡路大震災 15 周年フォーラム開催について懇談
	9.学会論文アーカイブスについて報告
	10.名誉会員志賀敏男先生追悼報告
第83回	議 <b>案</b>
2009. 12. 24	1.第82回理事会議事録案承認
2003.12.24   建築会館	2.入会者退会者承認可決
301会議室	4件・懇談事項
301云俄王	1.2009 年度大会優秀論文発表賞の表彰について報告
	2.阪神・淡路大震災 15 周年フォーラム開催準備報告
	3.第二次インドネシア災害復旧協力チーム報告
	4.法人化準備委員会開催報告
	①定款(案)に関する会員からの意見
	②定款の議決今後の法人化スケジュール
	5.財団法人震災予防協会解散について懇談
	6.2011 年度大会開催について懇談
	7.アクションプラン等平成 22 年度計画について懇談

### 第84回 議案 1.第83回理事会議事録案承認 2010. 2. 2 建築会館 2.入会者退会者承認可決 301会議室 3.後援名義承認可決 4.平成22年度会費引落し日程の変更について承認可決 5.JAEE事務局の今後の運営について承認可決 報告・懇談事項 1.会務報告 2.会計報告·会費未納者報告 3.阪神・淡路大震災15周年フォーラム開催報告 4.会誌№11号の発行報告 5.事業企画委員会開催報告 6.法人化準備委員会開催報告 ①定款 ②法人化に関わるスケジュール ③規程・内規の作業分担 7.総会出欠・役員選挙等のWeb化 8.新規企画事業について 9.日本学術会議理論応用力学講演会委員推薦について懇談 10.2011年度大会開催について懇談 11.平成22年度年次総会開催に向けて懇談 第85回 議案 2010.3.2 1.第84回理事会議事録案承認 建築会館 2.入会者退会者承認可決 301会議室 3.後援名義承認可決 4.平成21年度論文奨励賞受賞者承認可決 5.地震災害調査基金取崩し承認可決 6.特別事業基金取崩し承認可決 7.一般社団法人日本地震工学会への貸付金承認可決 報告・懇談事項 1.会務報告 2.会計報告·会費未納者報告 3.事務局職員について懇談 4.事務所移転について検討WG中間報告 5. 防災科学技術に関する調査について報告 6. 第13回日本地震工学シンポジウム開催について報告 7.法人化準備委員会開催報告 ①定款·規則 ②法人化に関わるスケジュール ③規程・内規の作業分担 8.新任役員候補について懇談

9.2011年度大会開催について懇談

10.平成21年度総会講演開催について懇談

# □正副会長会議

2009. 4. 2	議案
建築会館	1. 平成 20 年度事業報告案・収支決算案及び平成 21 年度事業計画案及び収支
306 会議室	予算案について検討
	2. 平成 21 年度役員構成について検討

会合	開催数
総会	1 回
理事会	10 回
正副会長会議	1回

### 1.3 法人化準備委員会

第1回	日本地震工学会法人化へ向け、準備委員会設立
2009. 6. 12 建築会館 308 会議室	定款・関連法規・学会将来予測の検討
第2回	定款・関連法規・学会将来予測の検討
2009. 7. 17 建築会館 308 会議室	
第3回	定款・関連法規・学会将来予測の検討
2009. 8. 17 建築会館 305 会議室	
第4回	定款・関連法規の検討
2009.9.9 建築会館 306 会議室	
第5回	定款・関連法規の検討
2009. 10. 21 建築会館 306 会議室	
第6回	定款・関連法規の検討
2009.11.12 東京・代々木センター	
第7回	定款・関連法規の検討
2009. 10. 24 建築会館 301 会議室	
第8回	定款・関連法規の検討
2010. 1. 20 建築会館 306 会議室	
第9回	一般社団法人日本地震工学会設立
2010.3.5 東京機械会館会議室	(登記日 2010年2月4日)

1.4 主要会務 (	(平成 21 年 4 月~平成 22 年 3 月)
04月01日(水)	• JAEE NEWS No.184 配信
04月02日(木)	・ 将来問題検討委員会・法人化検討委員会合同委員会(於 建築会館 301 会
	議室 15 時 00 分~17 時 00 分)
	• 拡大正副会長 鈴木会長 濱田次期会長、武村副会長、吉田副会長、鈴
	木祥之副会長、勝俣総務理事、犬飼総務理事、鈴木会計理事、佐藤会計
	理事、(於 建築会館 306 会議室 17 時 00 分~20 時 00 分)
04月06日(月)	・ イタリア・中部ラクイラ地震発生
04月07日(火)	・ 次期濱田会長よりイタリア・中部ラクイラ地震発生に伴う本会対応指示
	三輪理事、地震災害対応委員会他
04月08日(水)	・ ラクイラ地震発生に伴う本会「地震災害対応本部」設置
04月10日(金)	・ 地震災害対応委員会調査団結成と派遣について、土木学会、日本建築学
	会と連携推進 本会より青木孝義准教授(名古屋市立大学)を団員派遣
	に決定
	・ イタリア・ラクイラ地震合同調査団最終決定、報道機関へ情報発信
	(1) 調査団合同学会(4学会):
	日本地震工学会・(社)土木学会・(社)地盤工学会・(社)日本建築学会
	(2) 調査団構成:団長 川島 一彦 (東京工業大学 教授)
	本会団員青木孝義(名古屋市立大学准教授)他7名各団体より構成
	(3) 調査行程: 平成 21 年 4 月 18 日~4 月 23 日
04月13日(月)	・ 会計税理士(涌井税理会計事務所)3月定期監査実施及び決算作業(於本
	会事務所 10 時 30 分~15 時 00 分)
04月14日(火)	・ セミナー「構造物の地震リスクメンジメント」開催 講師 神田 順(東
	京大学教授)中村孝明(篠塚研究所)(於 建築会館ホール 13 時 00 分
	~16 時 30 分)参加者 86 名
04月15日(水)	• JAEE NEWS No. 185 配信
04月16日(木)	・ 地震被害・復興の記録のアーカイブス構築のための研究委員会開催 小
	長井委員長他(於 東京大学生産技術研究所 B 棟 3 階 Bw302 号室 10 時 00 分~12 時 00 分)
	- 00 分 22 時 00 分) - 会長・副会長会議開催 鈴木会長、濱田次期会長、鈴木(祥)副会長、
	西谷副会長、吉田副会長、武村副会長、総務理事他(於 建築会館 301 会
	議室 16 時 00 分~17 時 00 分)
	• <b>第 76 回理事会開催</b> 鈴木会長、濱田次期会長他(於 建築会館 301 会議
	室 17 時 00 分~19 時 30 分)
	・ 会誌編集員会開催 志波・理事委員長、青木幹事他(於 建築会館 308
	会議室 15 時 00 分~17 時 30 分)
04月18日(士)	・ イタリア・ラクイラ地震に関する合同調査団派遣
	(1) 調査団合同学会(4 学会): 日本地震工学会・(社)土木学会・
	(社) 盤工学会・(社) 日本建築学会
	(2) 調査団構成:団長 川島 一彦(東京工業大学 教授)
	本会団員 青木孝義(名古屋市立大学准教授)他7名各団体より構成
	(3) 調査行程: 平成 21 年 4 月 18 日~4 月 23 日 (予定)
04月21日(火)	・ 第13回日本地震工学シンポジウム運営委員会総務部会(第1回)開催 倉
, , ,	本幹事、福和委員、勝俣委員他(於 建築会館 306 会議室 10 時 30 分~

	• 12 時 30 分)
	<ul> <li>事業企画委員会開催 中村理事・委員長、青木幹事他(於 建築会館 307 会議室 15 時 00 分~18 時 00 分)</li> </ul>
04月22日(水)	<ul><li>・ 平成 20 年度監事監査会 監査議案: 平成 20 年度事業報告及び収支決算</li></ul>
01/1 22 14 (/11/	書報告、出席:工藤監事、高田監事 役員:鈴木総務・会計理事、佐藤
	会計理事、勝俣総務理事、犬飼総務理事他 鴫原事務局長(於 建築会館
	307 会議室 15 時 00 分~17 時 00 分)
	<ul><li>総務理事・会計理事打合せ(於 本会事務所 17時00分~19時00分)</li></ul>
	・ 平成 21 年度通常総会通知(メール配信)正会員 1166 名、法人会員代表
	90 名
04月23日(木)	・ JAEE NEWS <b>臨時配信</b> (日本地震工学会第9回通常総会ならびに講演会)
	・ サーバー入れ替え作業 盛川委員、齋藤委員(於 本会事務所 12 時 00
04月24日(金)	分~19 時 00 分)
04月30日(木)	<ul><li>JAEE NEWS 臨時配信 (イタリア・ラクイラ地震に関する調査団報告会 開催について)</li></ul>
05月01日(金)	・ JAEE NEWS No. 186 配信
00 / 1 01 日 (並)	- 第2回日本地震工学シンポジウム運営委員会開催 濱田次期会長、和田
	委員長各学協会推薦委員(於 土木学会 2D 会議室 10 時 00 分~12 時 00
	分)
	・ イタリア・ラクイラ地震に関する調査団報告会開催 イタリア・ラクイ
	ラ地震合同被害調査団派遣による報告会 共催:本会・(社)土木学会・
	(社)地盤工学会・(社)日本建築学会 講師:川島団長(本会元会長、本
	会派遣団員 青木義孝名古屋市立大学准教授他(於 土木学会講堂 13 時
	00 分~17 時 00 分)
	参加者約 100 名
05 F 07 F (+)	· 論文集第9巻第3号発刊
05月07日(木)	・ 会長・副会長会議開催 鈴木会長、濱田次期会長、鈴木(祥)副会長、 吉田副会長、武村副会長、総務理事他(於 建築会館 301 会議室 16 時
	00 分~17 時 00 分)
	· <b>第77 回理事会開催</b> 鈴木会長、濱田次期会長他(於 建築会館 301 会議
	・ 室 17 時 00 分~19 時 30 分)
05月11日(月)	- JAEE NEWS <b>臨時配信</b> (5月21日開催予定の「第9回通常総会」の出欠
	連絡票・委任状返信について)
05月15日(金)	・ JAEE NEWS No.187 配信
	• 会計税理士(涌井税理会計事務所)4月定期監査実施(於 本会事務所
	10 時 30 分~17 時 00 分)
05月17日(日)	・建築会館全館停電
05月18日(月)	・日本地震工学会大会実行委員会開催 芳村理事・大会委員長他委員、犬
	飼総務理事、鴫原事務局長(於 首都大学東京 9 号館 773 室 15 時 00 分
05月21日(木)	- ~17 時 00 分) ・ 日本地震工学会第 9 回通常総会開催 (於 建築会館ホール 13:30~
00月41日(小)	・ 日本地展工字会界 9 回週常総会開催 (於 建築会館ホール 13:30~   19:00)
	19.00/   (1) 講演会 最近の地震災害から学ぶ 講師川島一彦元副会長他2名
	(2)論文奨励賞授与式ならびに記念講演 受賞 佐々木健人氏他 1 名

	(3) 総会 第1号議案~第10号議案、
	懇親会開催
	• 第2回微動利用技術委員会開催 森伸一郎委員長(愛媛大学教授)他20
	名出席(於 建築会館 305 会議室 12 時 00 分~15 時 00 分)
05月22日(金)	・ 10 周年記念事業委員会(第1回)開催 武村副会長・委員長、福和理事・
	幹事、倉本理事・幹事他(於 本会事務所 13 時 00 分~15 時 00 分)
	<ul> <li>総務理事打合せ 犬飼理事、中村理事(於 本会事務所 15 時 00 分~16</li> </ul>
	時 00 分)
	・ 総務打合せ 濱田会長、犬飼理事(於・早稲田大学 10 時 00 分~11 時
	30分)
05月25日(月)	· 第1回研究統括委員会開催 翠川理事、三輪理事、飯場理事(於 本会事
	務所室 13 時 00 分~14 時 00 分)
05月30日(土)	・ 日本学術会議主催 シンポジウム「学協会の新公益法人制度への対応の
	現状と課題」勝俣理事 (於 日本学術会誌講堂 13 時 15 分~17 時 30
	分)
06月01日(月)	· JAEE NEWS No. 188 配信
06月04日(木)	・ 阪神淡路大震災フォーラム打合せ 濱田会長、高田監事他(於 建築会館
	301 会議室 15 時 30 分~17 時 00 分)
	・ <b>第 78 回理事会開催</b> 濱田会長他(於 建築会館 301 会議室 17 時 00 分~
	19時30分)
	・ 日本地震工学シンポジウム運営委員会総務部会開催 倉本委員、勝俣委員他(於 建築会館 304 会議室 15 時 30 分~17 時 00 分)
06月12日(金)	・ JAEE NEWS <b>臨時配信</b> (学生会員 『会費値下げ』のお知らせ)
00月12日(並)	· 法人化準備委員会(第1回)開催 濱田会長、犬飼総務理事他(於 建築
	会館 308 会議室 17 時 00 分~19 時 30 分)
06月13日(土)	<ul> <li>・ 阪神・淡路大震災 15 周年フォーラム打ち合わせ 濱田会長、鈴木前副会</li> </ul>
	長、高田監事、犬飼理事(於 京都 会議室 13 時 00 分~15 時 00 分)
06月15日(月)	· JAEE NEWS No. 189 配信
20,7, 20,1, (),7,	<ul><li>・ 日本地震工学会大会実行委員会開催 芳村理事・大会委員長、犬飼総務</li></ul>
	理事他委員(於 首都大学東京 9 号館 773 室 15 時 00 分~17 時 00 分)
06月16日(火)	• 会計税理士(涌井税理会計事務所)4月定期監査実施(於 本会事務所
	13 時 00 分~17 時 00 分)
	・ 阪神・淡路大震災 15 周年フォーラム実行委員会(仮称) 打ち合わせ 高
	田監事、清野教授(京大)川瀬教授(京大)
06月19日(金)	・ 論文編集委員会開催 栗田理事・委員長他(於 建築会館 306 会議室 15
	時 00 分~18 時 00 分)
	・ 地震被害・復興の記録のアーカイブス構築のための研究委員会開催 小
	長井委員長他(於 東京大学生産技術研究所 B 棟 3 階 Bw302 号室 16 時
	00 分~18 時 00 分)
06月23日(火)	・ 日本地震工学シンポジウム学術部会開催 久田部会長他(於 東京大学工
	学部高田研究室 10 時 00 分~12 時 00 分)
06月24日(水)	・ JAEE NEWS 臨時配信(災害派遣の現場から学ぶリスクマネジメント講
	座開催のお知らせ)

00 H 00 H (A)	事业人运手具人即以 中村四東 手具目(k) (大) 净烷入的 000 人类点 15
06月26日(金)	<ul><li>事業企画委員会開催 中村理事・委員長他(於 建築会館 303 会議室 15 時 00 分~18 時 00 分)</li></ul>
06月29日(月)	· 法人化準備委員会打合せ 濱田会長、犬飼理事、勝俣委員(於早稲田大
	学濱田研究室 18時00分~20時00分)
06月30日(火)	・ 阪神・淡路大震災 15 周年フォーラム準備会開催 濱田会長、武村副会長、
	鈴木祥之前副会長、翠川理事他(於 建築会館 303 会議室 13 時 00 分~
	15 時 00 分)
07月01日(水)	· JAEE NEWS No. 190 配信
07月07日(火)	・災害リモートセンシング技術の標準化と高度化に関する研究委員会開催
	松岡委員長他(於 産総研秋葉原事業所第2会議室 10時00分~12時30
07月10日(金)	・ 阪神・淡路大震災 15 周年フォーラム組織委員会(第1回)開催 濱田会
	長、鈴木祥之前副会長・組織委員長、翠川理事・副委員長、高田監事・
	実行委員長、各共催学協会代表委員、犬飼総務理事、中村総務理事、保
	井総務理事他(於 建築会館 302 会議室 16 時 00 分~18 時 00 分)
07月13日(月)	・ イタリア・ラクイラ地震災害・4学会合同調査報告書(川島団長報告)
	・ JEES 行事部会・JAEE10 周年記念事業委員会合同委員会開催 武村副会長、
	福和理事、倉本理事、中村総務理事、中村事業理事他(於 建築会館 307
	会議室 17時00分~19時50分)
	· 大会実行委員会(第6回)開催 芳村理事·大会委員長、実行委員他(於
	首都大学東京 9 号館 778 号室 15 時 00 分~16 時 00 分)
07月14日(火)	・「災害派遣の現場から学ぶリスクマネジメント講座(自衛隊見学会)」開
	催事業企画委員会企画 中村理事・委員長他 (場所:陸上自衛隊練
	馬駐屯地 (練馬区北町) 10 時 00 分~15 時 00 分)参加者 60 名
	• 会計税理士(涌井税理会計事務所)6月定期監査実施(於 本会事務所
	13 時 00 分~15 時 00 分)
07月15日(水)	· JAEE NEWS No. 191 配信
07月16日(木)	<ul><li>会誌編集委員会委員長・幹事打合せ 境理事・委員長、青木幹事他(於 建 築会館 308 会議室 17 時 30 分~19 時 00 分)</li></ul>
07月17日(金)	- 第三日 306 三議至 17 時 30 万~19 時 00 万) - <b>法人化準備委員会(第 2 回)開催</b> 濱田会長、犬飼総務理事、中村総務
	理事他 (於 建築会館 308 会議室 17 時 00 分~19 時 00 分)
07月24日(金)	- ・ 阪神・淡路大震災 15 周年フォーラム実行委員会(第1回)開催 高田監
01万24日(並)	事・実行委員会委員長他(於 建団連会館 3 階会議室(大阪市)15 時 00
	分~17 時 00 分)
07月29日(水)	- 第 13 回日本地震工学シンポジウム運営委員会(第 3 回)開催 和田委員
	長、武村副会長、福和理事、倉本理事他(於 建築会館 301 会議室 10
	時 00 分~12 時 00 分)
07月30日(木)	・ 阪神・淡路大震災 15 周年フォーラム打合せ 濱田会長、鈴木前副会長・
01 /1 00 H (/K)	組織委員会委員長、翠川理事・組織委員会副委員長、犬飼総務理事(於本
	会事務所 $14$ 時 $30$ 分 $\sim$ 16 時 $30$ 分)
	・ 地震被害・復興の記録のアーカイブス構築のための研究委員会開催 小
	長井委員長他(於 東京大学生産技術研究所 B 棟 3 階 Bw302 号室 10 時
	00 分~12 時 00 分)
	00 /J 14 m 00 /J /

07月31日(金)	・ 第 79 回理事会開催 濱田会長、久保次期会長他(於 建築会館 301 会議
	室 17時00分~19時30分)
08月03日(月)	・ JAEE NEWS No.192 配信
08月04日(火)	・ 阪神・淡路大震災 15 周年フォーラム組織委員会(第 2 回)開催 濱田会
	長、鈴木祥之前副会長・組織委員長、翠川理事・副委員長、各共催学協
	会代表委員、犬飼総務理事、中村総務理事、保井総務理事他
	(於 建築会館 304 会議室 16 時 30 分~18 時 40 分)
08月06日(木)	・ JEES 学術部会開催 久田部会長他(於 工学院大学久田研究室 10 時 00
00 /1 00 🖰 (/1/)	分~12 時 00 分)
08月07日(金)	・ 阪神・淡路大震災 15 周年フォーラム 表敬訪問(兵庫県・神戸市・大阪
00 11 01 口 (亚)	市)
	濱田会長、鈴木前副会長・組織委員長、犬飼理事が表敬訪問を行った。
	①人と未来防災センター 河田惠昭センター長
	②兵庫県 井戸敏三知事
	③神戸市危機管理室 嶋 秀穂室長
	④国土交通省近畿地方整備局 上総周平局長
	⑤大阪危機管理室長
	・ 津波災害の軽減方策に関する調査研究委員会開催 松冨委員長他(於 建
	築会館 303 会議室 13 時 30 分~17 時 00 分)
08月10日(月)	・ 大会実行委員会(第 7 回)開催 芳村理事・大会委員長、実行委員他、
	大飼理事、鴫原事務局長(於 首都大学東京 9 号館 778 号室 15 時 00 分
	~16 時 00 分)
08年11日(火)	<ul><li>・ 平成 21 年 8 月 11 日駿河湾を震源とする地震発生</li></ul>
08月17日(月)	・ JAEE NEWS <b>臨時配信</b> (年次大会における優秀論文発表賞について)
	· 法人化準備委員会(第3回)開催 濱田会長、犬飼総務理事他(於 建築
	会館 305 会議室 17 時 00 分~19 時 30 分)
08月18日(火)	- 平成 21 年度東京都防災展出展 事業企画委員会(於 東京都新宿駅西口
~21 日 (金)	
, , , , , , ,	広場イベントコーナー)参加者一般市民他多数
08月21日(金)	・ 微動利用技術研究委員会開催 森伸一郎委員長他(於 建築会館 301 会議
	室 13 時 00 分~17 時 00 分)
08月24日(月)	・ JEES 学術部会開催 久田部会長他(於 建築会館 308 会議室 17 時 00 分
	~19 時 00 分)
	・ 阪神・淡路大震災 15 周年フォーラム実行委員会打合せ 鈴木祥之組織委
	員長、翠川副委員長、川瀬実行副委員長、清野副委員長他(於 大阪市 会
	議室 14 時 00 分~16 時 00 分)
08月27日(水)	・ 五学会(日本建築学会・土木学会・地盤工学会・日本地震工学会・日本
	地震学会)連合浜岡原発見学会開催(9月8日)(中部電力(株)の浜岡
	原子力発電所(浜岡原発))日本建築学会構造委員会原子力建築運営委員
	会滝口委員長より参加者募集の案内受領
	<ul><li>・ 同上 犬飼総務理事より本会役員に案内</li></ul>
	四工 八剛心仂仕ずより个五以貝に米川 

09月01日(火)	<ul> <li>JAEE NEWS No. 193 配信</li> <li>阪神・淡路大震災 15 周年フォーラム実行委員会(第2回) 開催 鈴木祥</li> </ul>
	之組織委員会委員長、川瀬副委員長、清野副委員長、犬飼理事他(於 神 戸国際会議場会議室(神戸市)14 時 00 分~16 時 00 分)
09月07日(月)	・ JEES 行事部会・JAEE10 周年記念行事委員会(合同)武村委員長、倉本理事、福和理事、境理事他(於建築会館306会議室 16時30分~18時30分)
09月08日(火)	・ 五学会(日本建築学会・土木学会・地盤工学会・日本地震工学会・日本地学会)連合浜岡原発見学会実施(9月8日)本会より、高田一理事、法人会員稲井慎介氏(戸田建設)法人会員壇 一男氏(清水建設)3名参加
09月09日(水)	<ul> <li>会誌編集委員会開催 境理事・委員長他(於 建築会館 306 会議室 15 時 00 分~17 時 00 分)</li> </ul>
	· 法人化準備委員会(第 4 回)開催 濱田会長、犬飼総務理事、中村総務 理事他(於 建築会館 306 会議室 17 時 00 分~19 時 00 分)
09月14日(月)	・ 法人化準備委員会打合せ 濱田会長、犬飼理事、勝俣委員、行政書士新 妻氏(於 早稲田大学濱田研究室 17時00分~18時30分)
09月15日(火)	・ JAEE NEWS No.194 配信
	· 会計税理士(涌井税理会計事務所)7月·8月定期監査実施(於 本会事
	務所 10 時 00 分~17 時 00 分)
	・ 「昇降機における耐震技術と振動対策の最前線を知る」開催 事業企画 委員会主催 中村理事・委員長、古屋委員他(於 日本大学理工学部 5 号館 13時00分~17時30分)参加者28名
09月17日(木)	・ 日本地震工学会大会実行委員会開催 芳村理事・大会委員長、鴫原事務 局長他委員(於 首都大学東京9号館773室 13時30分~15時30分)
09月18日(金)	<ul> <li>第80回理事会開催 濱田会長、久保次期会長他(於 建築会館 304 会議室 17時00分~19時00分)</li> </ul>
09月25日(金)	・ 地震被害・復興の記録のアーカイブス構築のための研究委員会開催 小長井委員長他(於東京大学生産技術研究所 B 棟 3 階 Bw302 号室 10 時 00 分~12 時 00 分)
09月26日(土)	・ 日本地震工学会 2009 大会(東京)論文投稿締切り
09月29日(火)	・サモア諸島地震発生
09月30日(水)	・スマトラ沖地震発生
	・ スマトラ沖地震発生に伴う本会・国境なき技師団合同調査による調査団派遣について濱田会長より指示
	・ 災害リモートセンシング技術の標準化と高度化に関する研究委員会・幹
	事会開催 松岡委員長他(於 産総研秋葉原事業所第 2 会議室 17 時 00 分~18 時 30 分)
10月01日(木)	・ JAEE NEWS No.195 配信
10年03日(土)	・ スマトラ地震発生に伴う本会「地震災害対応本部」設置(サモア地震、スマトラ地震)
10年04日(日)	・ 大会実行委員会(第 8 回)開催 芳村理事・大会委員長、実行委員他、 鴫原事務局長(於 首都大学東京 9 号館 778 号室 10 時 00 分~12 時 00 分)

10月06日(火)	・ 2009 年スマトラ地震復旧協力チーム派遣、3 会合同調査チーム構成(本
	会、土木学学会、NPO 国境なき技師団)→プレスリリース発表
10月09日(金)	· 事業企画委員会開催 中村理事·委員長他(於 建築会館 306 会議室 15
	時 00 分~18 時 00 分)
10月12日(月)	・ サモアにおける津波被害調査への委員派遣について、津波災害の実務的
	・ な軽減方策に関する研究委員会松冨委員長より申請
	・ サモアにおける津波被害調査実施、津波災害の実務的な軽減方策に関す
	る研究委員会 松冨委員長、有川委員、藤間委員3名
	① 調査目標:サモア津波における津波高さや被災状況の調査
	② 派遣期間:2009年10月12日~10月23日
10月14日(水)	• 会計税理士(涌井税理会計事務所)9月定期監査実施(於 本会事務所
	13 時 00 分~17 時 00 分)
	・ 法人化準備委員会打合せ 濱田会長、犬飼総務理事、勝俣委員、鴫原事
	務局長、行政書士新妻雄次氏(JIS法務事務所)(於 早稲田大学濱田
10 0 15 0 (4)	研究室 18 時 00 分~19 時 00 分)
10月15日(木)	・ 2009 年スマトラ地震復旧協力チーム派遣 団長 濱田会長、本会団員(岸
	本一蔵先生、真田靖士先生)他調査チーム団員
	① 協力活動の目標: ・被災構造物の応急診断と復旧方針の検討
	・被災地域の復興に関する基本方針策定への協力
	・中・長期的技術協力のあり方の検討
	② 調査期間: 2009 年 10 月 15 日~10 月 20 日
	• JAEE NEWS No. 196 配信
10月19日(月)	<ul><li>・ 名誉会員 志賀敏男先生(東北大学名誉教授)逝去 本会濱田会長名に</li></ul>
	より供花、弔電を献上(25日通夜、26日告別式)本会理事関係者出席
10月21日(水)	· 法人化準備委員会(第 5 回)開催 濱田会長、犬飼総務理事、中村総務
	理事他、行政書士新妻雄次氏出席(JIS法務事務所)(於 建築会館 306
	会議室 17時00分~19時00分)
10月27日 (火)	· 第81回理事会開催 濱田会長、久保次期会長他(於建築会館301会議
	室 17 時 00 分~19 時 20 分)
	・ JAEE NEWS 臨時配信 (2009 年インドスマトラ沖地震復旧支援協力チー
	ム被害調査報告会開催について)
	・ 涌井税理士 (涌井税務会計事務所代表) と新法人移行に税務関係に関す
	る懇談 犬飼総務理事、高田会計理事、鴫原事務局長(於 本会事務所 15
	時 00 分~17 時 00 分)
10月28日(水)	・ 微動利用技術研究委員会開催 森伸一郎委員長他(於 建築会館 304 会議
	室 14 時 00 分~17 時 00 分)
	・ 2009 年度大会「論文優秀発表賞」若手・学生対象者、非会員に会員入会
10月29日(木)	案内のメール発信(31名) ・ 地震被害・復興の記録のアーカイブス構築のための研究委員会開催 小
10月29日(水)	長井委員長他(於 東京大学生産技術研究所 B 棟 3 階 Bw302 号室 10 時
	- 2009年インドスマトラ沖地震復旧支援協力チーム被害調査報告会開催
	団長 濱田会長、中埜地震災害対応委員会委員長、本会団員、岸本一蔵

	・ (大阪大)、真田靖士(豊橋技科大)他合同団員による報告(於 土木学
	会講堂 14時00分~17時00分)参加者80名
	・ JAEE <b>臨時NEWS配信</b> (大会2009「優秀論文発表賞」についてお願い)
	・ 災害リモートセンシング技術の標準化と高度化に関する研究委員会開催
	松岡委員長他(於 産総研秋葉原事業所第2会議室 16時00分~18時30分)
10月30日(金)	<ul><li>・ 大会実行委員会(第9回)開催 芳村理事・大会実行委員会委員長、実</li></ul>
	行委員他、鴫原事務局長(於 首都大学東京 9 号館 778 号室 14 時 00 分
	~16 時 00 分)
11月02日(月)	・ JAEE NEWS No.197 配信
	・ 平成21年度電子アーカイブ対象候補誌選定結果について(独)科学技術
	振興機構(JST)審議役 門田博氏より通知受領 本会誌名:日本地
	震工学論文集選定される。
11月04日(水)	<ul><li>・メール審議理事会開催(議案 2009年10月28日~11月4日入会申請者(学</li></ul>
	生会員12名)に対する、入会審議 期間11月6日)
11月06日(金)	・ <b>メール審議理事会議案承認</b> 2009年年10月28日~11月4日に申請のあっ
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	た学生会員12名の入会承認)
11月09日(月)	・ JAEE <b>臨時NEWS配信</b> (大会開催時における法人化移行説明、スマトラ沖
	地震に関する報告会等開催案内)
11月10日(火)	<ul><li>・ 平成21年度電子アーカイブ対象選定誌により、(独)科学技術振興機構(J</li></ul>
	ST) 担当者 中山氏とデータ作成方法についてヒアリング 栗田理
	事・論文編集委員長、犬飼理事、鴫原事務局長他(於 本会事務所 15時
	30分~17時00分)
11年12日(木)	<ul><li>・ 2009年度日本地震工学会大会(2009) 開催</li></ul>
~	期日:2009年11月12日(木)~11月14日(土)3日間
11月14日(土)	場所:東京・国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟会
	議室 応募論文数:175題
	1. 開会式 11月12日 (木) 濱田会長、芳村理事・大会実行委員会委員長
	2. 大会懇親会開催 11月13日(金)17:30~19:30(カルチャー棟レス
	トランとき)
	3. 「論文優秀発表賞」実施(若手(35才未満)対象者)
	4. スマトラ沖地震に関する報告会開催 11月13日 (金) 12:00~12:50
	報告:濱田会長
	5. 大会技術展開催(企業出展6社)
11月12日(木)	・ 第3回日本地震工学シンポジウム運営委員会開催 和田委員長各学協会
	推薦委員(於 代々木センター304 会議室 10 時 00 分~12 時 00 分)
11月13日(金)	· 法人化準備委員会(第 6 回)開催 濱田会長、犬飼総務理事、中村総務
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	理事、行政書士新妻雄次氏出席(JIS法務事務所)他(於代々木セン
	ター304 会議室 17 時 30 分~19 時 00 分)
	・ 阪神・淡路大震災15周年フォーラム打合せ 濱田会長、武村副会長、鈴
11月14日(土)	木組織委員会委員長、翠川理事・組織委員会副委員長、犬飼総務理事、
	鴫原事務局長(於 代々木センター304会議室 10時00分~11時30分)
	"4//1-1-2///1920 (AC   C - /   001A版主 10m(00) 11m(00))

11月16日(月)	・ JAEE NEWS No.198 配信
	・ 阪神・淡路大震災 15 周年フォーラム実行委員会(第 3 回)開催 鈴木祥
	之組織委員長、実行委員会委員長代理、犬飼総務理事他(於 メルパル
	ク京都 4 階会議室(京都市)15 時 00 分~16 時 00 分)
11月18日(水)	・ JAEE NEWS 臨時配信(阪神・淡路大震災 15 周年フォーラム開催案内)
11月24日(火)	・ 第 82 回理事会開催 濱田会長、久保次期会長他(於 建築会館 301 会議
	室 17 時 00 分~19 時 00 分)
	・ JEES 行事部会・JAEE10 周年記念行事委員会合同委員会開催 武村副会
	長・委員長、福和理事他(於 建築会館 306 会議室 14 時 00 分~17 時
	00 分)
	・ 阪神・淡路大震災 15 周年フォーラム開催パネルディスカッション司会者
	と講師の打合せ 司会:翠川理事、副司会:大西委員、講師:石崎勝一
	氏他(於 神戸市保健福祉局長室 17時00分~19時00分)
11月25日(水)	・ 一般社団法人日本地震工学会の設立に向けて 濱田会長挨拶及び定款案
	のホームページ公開意見・質問募集公告(12月 24 日意見・質問締切り)
12月01日(火)	・ JAEE NEWS No.199 配信
12月02日(水)	・ 阪神・淡路大震災 15 周年フォーラム開催表敬挨拶 濱田会長、鈴木祥之
	組織委員会委員長、犬飼理事(神戸新聞社、NHK 神戸局、神戸市役所、関
	西大学、国土交通省近畿地方整備局 上総局長他)
12月04日(金)	・ 平成 21 年度会費未納者請求書発送(正会員 85 名、学生会員 75 名)
	・ 会誌第11号(1月発行)広告掲載、法人会員への発信
12月08日(火)	・ 会計税理士(涌井税理会計事務所)10月・11月定期監査実施(於 本会
	事務所 13 時 00 分~18 時 00 分)
	・ 第 13 回日本地震工学シンポジウムホームページ公開
12月09日(水)	・ 阪神・淡路大震災 15 周年フォーラム組織委員会(第3回)開催 濱田会
	長、鈴木祥之組織委員長、翠川理事・副委員長他各共催学協会代表委員、
	犬飼総務理事、中村総務理事、保井総務理事他(於 建築会館 307 会議室
	16 時 00 分~17 時 00 分)
	・ 同開催・総合司会入江さやか氏(NHK 報道局記者)と打合せ 濱田会長、
	鈴木祥之組織委員長、翠川理事・副委員長、犬飼理事(於 建築会館 307
	会議室 15 時 00 分~16 時 00 分)
12月13日(日)	・ インドネシア災害復旧協力チーム(土木学会、建築学会、NPO 国境なき技
	師団)現地派遣 本会支援協力 濱田団長(本会会長)調査
12月10日(木)	・ 原子力発電所の地震安全問題に関するワークショップ開催—原子力発電
	所の地震安全問題に関する調査委員会第 6 回委員会開催として一 亀田
	委員長他 中村理事・事業企画委員会委員長他(於 (独) 原子力安全基
	盤機構 11 階会議室 9 時 30 分~17 時 30 分)参加者 43 名
12月15日(火)	・ JAEE NEWS No. 200 配信
12月18日(金)	・ 電子広報委員会開催 大堀理事・委員長他(於 本会事務所 17時00分
	~18 時 00 分)
12月21日(月)	· 会誌編集委員会開催 境理事·編集委員長、藤田幹事他(於 建築会館 307
	会議室 17 時 00 分~19 時 00 分)
	・ 阪神・淡路大震災 15 周年フォーラム実行委員会(第4回)開催 鈴木祥
	之組織委員長、実行委員会委員長代理、委員他(於 メルパルク京都 4

階会議室(京都市)14時00分~18時00分)

- ・ 津波災害の実務的な軽減方策に関する研究委員会開催 松冨委員長他
- · (於 建築会館306会議室 13時30分~16時00分)
- · 法人化準備委員会(第7回)開催 濱田会長、武村副会長、犬飼総務理 事、中村総務理事他(於建築会館301会議室 14時30分~16時30分)
- **第 83 回理事会開催** 濱田会長、久保次期会長他(於 建築会館 301 会議室 17 時 00 分~19 時 00 分)
- ・ 事務局御用納め
- ・ 事務所仕事始め
- ・ 阪神・淡路大震災 15 周年フォーラム実行委員会(第5回)開催 鈴木祥 之組織委員長、実行委員会委員長代理、犬飼理事、実行委員他(於 神 戸市国際会議室(神戸市)14時00分~18時00分)
- ・ 財団法人震災予防協会について懇談 伯野元彦理事長、本会濱田会長、 事務局から鴫原事務局長出席(於 本会事務所 17時00分~17時30分)
- ・ 中米ハイチ国地震発生
- ・ 「ハイチ国地震」発生に伴う本会対応について濱田会長より関係理事、 地震災害対応委員会中埜委員長に対応について指示
- · JAEE NEWS No. 201 配信
- 阪神・淡路大震災 15 周年フォーラム開催(13 時 00 分~17 時 30 分)
   共催:日本学術会議、(社) 地盤工学会・同関西支部、(財) 震災予防協会、地域安全学会、(社) 土木学会・同関西支部、(社) 日本機械学会、(社) 日本建築学会・同近畿支部、(社) 日本建築構造技術者協会・同関西支部、日本災害情報学会、日本災害復興学会、日本自然災害学会、(社) 日本地震学会、日本地震工学会、(社) 日本都市計画学会・同関西支部

後接: 国土交通省近畿地方整備局、兵庫県、神戸市、大阪府、大阪市、 関西地震観測研究協議会、神戸新聞社、NHK 神戸支局

- ■フォーラムプログラム
- 1. 場 所: 神戸国際会議場メインホール (兵庫県神戸市)
- 2. フォーラム次第

総合司会 入江さやか (NHK報道局社会部)

開会式挨拶 井戸 敏三 兵庫県知事

大垣眞一郎 日本学術会議副会長

鈴木 祥之 フォーラム組織委員会委員長(立命館大学)

#### 第一部 基調講演

- ·基調講演[1]:土岐憲三(立命館大学)
- ·基調講演 [2]:濱田政則(早稲田大学)

第二部 パネルディスカッション

地震災害軽減に向けての学協会の役割と地域社会との連携

12月28日(月)01月06日(水)

12年24日(木)

- 01月12日(火)
- 01月13日(水)
- 01月13日(水)
- 01月14日(木)
- 01月15日(金)
- 01月18日(月)

	司会
	翠川三郎(東京工業大学)、副司会 大西一嘉(神戸大学)
	パネリスト
	武村雅之(鹿島小堀研究室)
	梶原浩一((独)防災科学技術研究所)
	越山健治(人と防災未来センター)
	目黒公郎(東京大学生産技術研究所)
	石崎勝伸 (神戸新聞社社会部)
	桜井誠一(神戸市保健福祉局)
	森崎輝行(いきいき下町推進協議会)
	黒田裕子(NPO 阪神高齢者・障害者支援ネットワーク)
	<u>フォーラム参加者:550 名</u>
	■関連行事
	① パネル展示実施:防災技術等の展示
	② 見学会開催:フォーラム参加者を対象として、JR 鷹取駅から JR 新
	長田駅までのガイドウォーク <u>参加者:55名</u>
01月20日(水)	• 法人化準備委員会(第8回)開催 濱田会長、武村副会長、犬飼総務理
	事、中村総務理事他予定(於 建築会館 306 会議室 17 時 00 分~19 時
	00分)
01月22日(金)	・ JAEE 臨時 NEWS 配信(講習会「性能設計に基づく耐震設計事例の紹介」
	開催)
	・ 東京都から一般社団法人申請の定款認証通知(行政書士新妻氏)→役員
	通知
01月25日(月)	・ 講習会「性能設計に基づく耐震設計事例の紹介」本会・土木学会共催(企
	画:事業企画委員会)中村理事・委員長、講師 森伸一郎(愛媛大)他
	(於 土木学会講堂 13 時 30 分~17 時 00 分) 参加者 72 名
01月29日(金)	・ 地震被害・復興の記録のアーカイブス構築のための研究委員会開催 小
	長井委員長他(於 東京大学生産技術研究所 B 棟 3 階 Bw302 号室 10 時
	00 分~12 時 00 分)
02月01日(月)	・ JAEE NEWS No. 202 配信
02月02日(火)	• 第 83 回理事会開催 濱田会長、久保次期会長他予定(於 建築会館 301
	会議室 16時 30分~18時 30分)
	· 事業企画委員会開催 中村理事·委員長他予定(於 建築会館 306 会議
	室 15 時 00 分~18 時 00 分)
02月04日(木)	・ 本会後援 第 14 回震災対策技術展(横浜)開催 濱田会長・同実行委員
	会委員長開会挨拶及びオープニングテープカット (於 パシフィコ横浜 9 時 50 分~10
	時 00 分)
	・ 共催(本会、(独)防災科学技術研究所、NPO リアルタイム地震情報利
	用協議会共催)「国土セフティネットネットシンポジウム~災害軽減:震度の一歩先を
	目指して~」開催(於 パシフィコ横浜アネックスホール会議室 13 時 00 分~
	16 時 50 分)
	· 一般社団法人 日本地震工学会法人登記(東京法務局)
02月09日(火)	・ 日本地震工学シンポジウム運営委員会(第5回)開催 和田委員長、武
	村副会長、本会理事他(於 建築会館 301 会議室 17 時 00 分~19 時 00 分)

	・会計税理士(涌井税理会計事務所) 12 月・1 月定期監査実施(於 本会事
02月12日(金)	務所 10 時 30 分~17 時 00 分)
02月15日(月)	・ 阪神・淡路大震災 15 周年フォーラム組織委員会(第4回)開催 鈴木祥
02/1/20   . (///	之組織委員長、濱田会長、犬飼理事他(於 建築会館 308 会議室 16 時
	· 00 分~17 時 30 分)
	・ JAEE NEWS No. 203 配信
02月16日(火)	· 一般社団法人 日本地震工学会法人登記完了通知受領(東京法務局)
02月18日(木)	<ul><li>事務所移転等に関するWG開催 久保次期会長、東畑副会長、中村理事、</li></ul>
	高田理事、佐藤理事、鴫原事務局長(於建築会館307会議室 15時00
	分~16 時 40 分)
02月23日(火)	・ JEES 行事部会・本会 10 周年記念事業委員会合同部会開催 武村副会長、
	福和理事、中村総務理事他(於 建築会館 306 会議室 10 時 00 分~12 時
	00分)
02月24日(水)	・ 災害リモートセンシング技術の標準化と高度化に関する研究委員会開催
	松岡委員長他(於 東工大田町キャンパスイノベーションセンター 8 階会議室 16 時 00
	分~18 時 00 分)
02月26日(金)	・ 「E-ディフェンス橋梁耐震実験見学会」実施 会場:独立行政法人防災
	科学技術研究所兵庫耐震工学研究センター 13時30分~17時00分(事
	業企画委員会企画)参加者 10 名
02月27日(土)	・ チリ地震発生(南米西部)
03月01日(月)	・ JAEE NEWS No. 204 配信
03月02日(火)	・ 法人化準備委員会(第 9 回)開催 濱田会長、武村副会長、犬飼理事他
	(於 東京機械会館第 5 会議室 15 時 30 分~17 時 00 分)
	• JAEE <b>臨時 NEWS 配信</b> (22 年度「会費自動引落とし日変更」のお知らせ)
	・ 第 85 回理事会開催 濱田会長、久保次期会長他予定(於 建築会館 301
03月03日(水)	会議室 17 時 00 分~19 時 00 分) ・ チリ地震発生に伴う本会「地震災害対応本部」設置
03月09日(火)	- ・ チリ地震調査連絡会開催(第 1 回)中埜地震災害対応委員会委員長、濱
03 7 03 1 ()()	田会長、北川元会長他関係学会団体委員(於 建築会館 301 会議室 18
	時 30 分~20 時 30 分)
03月15日(月)	・ JAEE NEWS No. 205 配信
03月16日(火)	<ul><li>・ 総務部会開催、会計理事(佐藤・高田)、総務理事(犬飼・中村)、鴫原</li></ul>
	事務局長、平成21年度決算見込み及び平成22年度予算原案の検討(於本
	会事務所 14 時 00 分~17 時 00 分)
03月17日(水)	・ チリ地震調査連絡会開催(第2回)中埜地震災害対応委員会委員長、北
	川元会長他関係学会団体委員(於 地盤工学会会議室 11 時 00 分~13 時
	00分)
03月18日(木)	• 会計税理士 (涌井税理会計事務所) 2 月定期監査実施 (於 本会事務所
	13 時 00 分~17 時 00 分)
03月24日(水)	・ 津波災害の実務的な軽減方策に関する研究委員会開催 松冨委員長他
	(於 東京機械会館6F会議室 13時30分~16時00分)

#### 03月27日(土)

・ 2010 年 「チリ地震(4学会)合同調査団」派遣 日本地震工学会・(社)土木学会・(社)地盤工学会・(社)日本建築学会 本調査団の派遣については(独)国際協力機構(JICA)の協力を得て実 施

## 【調査団構成】

団長 北川良和(日本地震工学会 元会長/慶応義塾大学 元教授) 幹事 安田 進(地盤工学会/東京電機大学 教授) 幹事 翠川三郎(日本地震工学会/東京工業大学 教授) 他各団体から団員による構成

#### 【調査行程】

平成22年3月27日(土)~4月7日(水)(但し移動時間含む) 現地ワークショップ開催予定:平成22年4月5日(月)サンチャゴ・カトリカ大学(予定)

#### 2. 大会

#### 2.1 概要

1.日時:2009年11月12日(木)~14日(土)

2.会場:東京・代々木「国立オリンピック記念青少年総合センター」センター棟

3.内容:

①学術講演発表題数 175 題(部門別セッション別掲)

②大会懇親会58名③地震工学技術フェア6社

白山工業株式会社、株式会社ミツトヨ、株式会社勝島製作所、

アーク情報システム株式会社, リオン株式会社, 東京測振株式会社

4. 登録参加者 278 名

5. 大会実行委員会

委員長 芳村 学 首都大学東京教授 幹事長 北山和宏 首都大学東京教授 委 員 中村孝也 首都大学東京助教 高木次郎 首都大学東京准教授

山村一繁 首都大学東京助教 見波 進 首都大学東京助教 長島文雄 首都大学東京教授 小田義也 首都大学東京准教授 中村一樹 首都大学東京教授 市古太郎 首都大学東京助教

鹿嶋俊英 建築研究所国際地震工学センター主任研究員

青木 繁 東京都立産業技術高等専門学校教授 和泉信之 千葉大学大学院工学研究科教授

秋田知芳 千葉大学大学院工学研究科助教

WEB 盛川 仁 東京工業大学大学院准教授

協力委員WEB技術 斉藤洋文 応用地質㈱

JAEE 総務理事 犬飼伴幸 竹中工務店技術研究所

JAEE 総務理事 中村孝明 篠塚研究所 事務局 鴫原 毅 日本地震工学会

- 6. 大会セッション (別掲)
- 7. 大会学術講演集(学術振興掲載)
- 8. 地震工学技術フェア展(出展者6社一覧)

# 2.2 日本地震工学会・大会-2009 (セッション時間割・会場)

セッション時間割および会場一覧

1 題 15 分 (発表 10 分・質疑 5 分)

会	場	第1会場 3階 311室	第2会場 4階 409室	第3会場 5階 513室	第4会場 4階 402室	第5会場 4階 416室
	午前	開会式 日本地震工学会法人化説明会				
11/12 (木)		12:00-12:50 スマトラ沖地震に関する 報告会開催				
	ber 111	14:00-16:00 オーガナイズドセッション 津波災害の実務的な軽減方策	14:00-14:45 ヘルスモニタリング	14:00-16:30 強震動・地盤構造(1)	14:00-15:45 地震被害	技術展示
	112		16:00-17:30 土木構造物		16:00-18:00 鉄骨構造	
	午前	9:15-12:00 鉄筋コンクリート構造(1)	9:30-11:45 ライフライン・緊急速報 災害情報	9:30-12:00 強震動・地盤構造(2)	9:30-11:45 地中構造物・杭・基礎構造	技術展示
11/13 (金)	金)	13:00-15:30 鉄筋コンクリート構造(2)	13:00-14:45 社会・経済問題	13:00-14:45 震源特性	13:00-14:45 木造(1)	技術展示
	午後	15:45-17:00 機械	15:00-16:30 防災計画 リスクマネジメント	15:00-16:30 地盤の液状化 斜面崩壊	15:00-17:30 木造(1)	12 州 展 小
	17:00-19:00 懇親会 レストラン―とき					
11/14 (土)	午前	9:30-11:15 耐震補強	9:30-11:45 免震・制振	9:30-11:45 強震動・地盤構造(3)	9:30-11:45 地盤-構造物相互作用	技術展示

# 3. 表彰

# 3.1 2009年日本地震工学会論文奨励賞

受賞者	表彰業績
高浜 勉 君 (株式会社 構造計画研究所)	地盤条件を考慮した地震による鉄道構造物の被害関数の 構築
飯塚裕暁 君 (筑波大学)	木造建物における一自由度系地震応答解析のための復元力 特性モデルの提案

# 3.2 日本地震工学会大会 (2009) 優秀論文発表賞

受賞者	発表論文
三浦耕太 君 (東北大学)	梁主筋に機械式定着工法を用いたト形接合部に関する実験的 研究
矢島龍人 君 (首都大学東京)	PC 鋼より線を用いた梁曲げ破壊型 PRC 十字形骨組の力学特性に関する実験的研究
小林正人 君 (明治大学)	免震構造のせん断力係数分布に関する研究(その1)せん断力 係数分布の応答構造とその主要パラメータ
友澤裕介 君 (鹿島建設)	スペクトルインバージョン解析の残差に注目した距離減衰特性 の検討
引田智樹 君 (鹿島建設)	矩形クラックモデルの動力学的すべり時間関数を組み込んだ統計的グリーン関数法
三浦弘之 君 (東京工業大学)	1968 年十勝沖地震の八戸港湾での強震記録の再数値化 その2 基線補正に関する検討
吉敷祥一 君 (東京工業大学)	間柱型や壁型の制振部材が取り付く柱梁架構に着目した研究 (その1. 実建物の調査と実験概要)
鴨下直登 君 (東京工業大学)	間柱型や壁型の制振部材が取り付く柱梁架構に着目した研究 (その 2. 実験結果)
坂井公俊 君 (鉄道総合技術研究所)	盛土地盤中橋脚の地震時挙動把握のための振動台実験(その 2 計測データによる現象把握)
向坊恭介 君 (京都大学)	礎石建て構法木造軸組の水平及び上下動による振動台実験

## 4. 会誌・ニュース配信

#### 4.1 会誌

日本地震工学会誌 2冊 (2009年7月末、2010年1月末) 総ページ数 1 2 3頁 (2009年7月末発行/69頁、2010年1月末発行/54頁) 発行部数 3600部

#### 2009年7月 №10号 特集 実大構造物の振動実験による検証

- ・会長就任にあたって/濱田政則
- ・地震防災・地震工学の発展に大型構造実験は欠かせない・・・ はずだ/中島正愛
- ・実大実験を支える技術/清水秀丸、梶原 浩
- ・分散ハイブリット実験による大規模構造物の動的応答評価-アメリカNEESプロジェクトを中心に/高橋良和
- ・鉄筋コンクリート造建物のフェールセーフ耐震設計-基礎すべ り入力逸散に依存する強度型耐震構造の実大振動実験による 検証/壁谷澤寿海、壁谷澤寿一、金 裕錫、松森泰造
- ・木造建築物の振動台実験/五十田博
- ・大型振動台を用いた杭-地盤-構造物系の動的相互作用実験/ 鈴木比呂子、時松孝次
- ・原子力機器の耐震実証試験/飯島 亨、稲垣政勝
- ・宮城県沖地震の被害想定/田中礼治

#### 連載 名誉会員インタビュー

第2回 志賀敏男先生/引田智樹

第3回 田治見宏先生/田村 良

学会ニュース

学会の動き

## 2010年1月 No.11号 特集 長周期地震動の発生と構造物に及ぼす影響

- · 長周期地震動予測地図/纐纈一起、三宅弘恵
- ・長周期地震動のタンク・橋梁に及ぼす影響/坂井藤一
- ・長周期地震動が超高層建築物に及ぼす影響/斉藤大樹
- ・長周期地震動に対する制振・免震構造の応答性状/北村春幸
- ・E-Defenseの実験結果からみる長周期地震動が構造物に及ぼす 影響/長江拓也、福山國夫、梶原浩一、井上貴仁、中島正愛
- ・昇降機における長周期地震動対策について/小沼 裕

#### 連載 名誉会員インタビュー

第4回 山田善一先生

追悼文 志賀敏男先生を偲ぶ 柴田明徳

学会ニュース

学会の動き

# 4.2 JAEEニュース配信

, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	
号数	送信日
NO. 184	2009年4月1日
NO. 185	4月15日
臨時ニュース配信	4月23日
臨時ニュース配信	4月30日
NO. 186	5月1日
臨時ニュース配信	5月11日
NO. 187	5月15日
NO. 188	6月1日
臨時ニュース配信	6月12日
NO. 189	6月15日
臨時ニュース配信	6月24日
NO. 190	7月1日
NO. 191	7月15日
NO. 192	8月3日
臨時ニュース配信	8月17日
NO. 193	9月1日
NO. 194	9月15日
NO. 195	10月1日
NO. 196	10月15日
臨時ニュース配信	10月27日
臨時ニュース配信	10月29日
NO. 197	11月2日
臨時ニュース配信	11月9日
NO. 198	11月16日
臨時ニュース配信	11月24日
NO. 199	12月1日
NO. 200	12月15日
NO. 201	2010年1月15日
臨時ニュース配信	1月22日
NO. 202	2月1日
No. 203	2月15日
No. 204	3月1日
NO. 205	3月15日

# 5. 学術振興

# 5.1 日本地震工学会論文集

巻	号	発行年月	掲載題数
第9巻	第3号	2009年05月	4題
第9巻	第4号	2009年08月	6題
第9巻	第5号	2009年11月	7題
第10巻	第1号	2010年02月	3題

# 5.2 日本地震工学会大会学術講演集

一題当たり2頁 175題 365頁 CD-ROM付

	発表部門	題数	参加者
1	特別セッション: スマトラ沖地震に関する報告会	. = 22 .	80
2	オーガナイズドセッション: 津波災害の実務的な軽減方策	8	20
3	ヘルスモニタリング	7	30
4	土木構造物	6	17
5-1	強震動・地盤構造 (1)	9	50
5-2	強震動・地盤構造 (2)	9	50
5-3	強震動・地盤構造 (3)	9	30
6	社会・経済問題	6	30
7	防災計画・リスクマネジメント	6	40
8	震源特性	7	40
9	地盤の液状化、斜面崩壊	5	30
10	地中構造物・杭・基礎構造	9	30
11	地震被害	3	30
12	鉄骨構造	8	20
13-1	鉄筋コンクリート構造(1)	11	30
13-2	鉄筋コンクリート構造(2)	10	40
14	機械	5	20
15	ライフライン・緊急速報・災害情報	5	30
16-1	木造 (1)	7	20
16-2	木造 (2)	6	30
17	耐震補強	6	20
18	免震・制振	9	30
19	地盤—構造物相互作用	9	20

#### 6. 委員会活動

#### 6.1 会務関係

- ・正副会長会議
- 総務部会
- 会計部会
- 選挙管理委員会
- · 役員候補推薦委員会
- · 法人化準備委員会
- · 電子広報委員会

#### 6.2 会員関係

• 会員部会

#### 6.3 学術関係

・論文集編集委員会

## 6.4 情報関係

· 会誌編集委員会

#### 6.5 事業関係

• 事業企画委員会

## 6.6 調査研究関係

- ·研究統括委員会
- · 地震災害対応委員会
- 国際委員会
- ・災害リモートセンシング技術の標準化と高度化に関する研究委員会
- ・地震被害・復興の記録のアーカイブス構築のための研究委員会
- ・津波災害の実務的な軽減方策に関する研究委員会
- ・原子力発電所の地震安全問題に関する調査研究委員会
- · 微動利用技術研究委員会

## 6.7 共催団体関係委員会

- ・日本地震工学シンポジウム運営委員会 (第13回)
- ・阪神・淡路大震災15周年フォーラム組織委員会・同実行委員会

## 6.1 会務関係

委員会名 委員(長)名*1 委員数*1 *1:平成22年3月31日現在	会合数 (電子媒体 会合含)	事業概要
正副会長会議 濱田政則会長、久保哲夫次期会長、 武村雅之副会長、吉田望副会長 東畑郁生副会長、中島正愛副会長 犬飼伴幸総務理事、 中村孝明総務理事 佐藤清隆先任総務・会計理事 高田一会計理事 委員 9名	1回	<b>会務運営に関する重要事項の検討</b> ・通常総会の議案の検討 ・予算・事業計画の方針の検討 ・次期理事候補の検討・選出および役員分掌 の検討
総務部会 犬飼伴幸先任総務理事 中村孝明後任総務理事 佐藤清隆先任総務・会計理事 委員 3名	1回	会務運営に関する連絡調整、決算、予算、役員分掌に関する事項 ・決算・予算の検討 ・次期理事候補の検討
<b>会計部会</b> 佐藤清隆先任理事	メール審議	財務全般、収支予算・決算管理に関する事項 ・平成 21 年度収支決算の立案

高田 一後任理事 委員 2名		<ul><li>・平成22年度収支予算の立案</li><li>・予算管理月報を報告、予算流用書作成</li><li>・一般社団法人化に伴う財産管理運用規則作成</li><li>・監事監査会実施</li></ul>
選挙管理委員会 委員長(第1回委員会で互選) 金子美香先任会員理事 他 委員 4名	0回	<b>役員選挙の管理・運営所管に関する事項</b> 一般社団法人化に伴い選挙なし
<b>役員候補推薦委員会</b> <b>委員長(第1回委員会で互選)</b> 犬飼伴幸先任総務理事 他 委員 16名	0回	<b>役員選挙における候補者推薦に関する事項</b> 一般社団法人化に伴い委員会開催なし
法人化準備委員会 濱田政則会長・委員長 犬飼伴幸後任総務理事 他 委員 15名	9回	<ul><li>法人化に向けての諸施策を検討</li><li>・定款(案)作成</li><li>・規則(案)作成</li><li>・選挙規程(案)作成</li></ul>
電子広報委員会 大堀道広理事・委員長 委員 10名	1回メール審議	<ul> <li>①ホームページの管理・運営に関する事項</li> <li>②会員への情報発信に関する事項</li> <li>・サーバーの更新</li> <li>・ホームページの更新</li> <li>・サーバーの管理</li> <li>・JAEE NEWS 配信(月2回/22回)臨時ニュース配信(12回)</li> <li>・年次大会受付システム運用</li> </ul>

# 6.2 会員関係

会員部会	メール審議	会員の身分、入退会、管理に関する事項
金子美香理事		・学生会員の会費改定(値下げ)
保井美敏理事		・優秀論文発表賞の検討・実施
委員 2名		• 会費未納者対策
		・和文パンフレット改訂(500部)、英文パン
		フレット改訂 (200部)

# 6.3 学術関係

*		
論文集編集委員会	1回	論文集編集の編集及び発刊に関する事項
栗田 哲理事・委員長	他メール審議	・定期論文集の発刊(2・5・8・11月号)
委員 19名		・2010 年奨励賞候補者の選定
		・特集号の企画
国際委員会	4回	日本地震工学会の国際的活動の企画・運営
藤田 聡理事・委員長	他メール審議	国際交流
委員 10名		・IAEE 事務局および日本代表への支援
		・海外関係機関との連絡調整
大会実行委員会	7回	日本地震工学会大会開催企画・運営
芳村 学理事・委員長	他メール審議	・2009 年大会(東京)開催(詳細別項)
委員 18名		

# 6.4 情報関係

会誌編集委員会 境 有紀理事・委員長 委員 11名	4回	会報「日本地震工学会誌」を編集・発行し、 会員および学会外へ情報発信に関する事項 ・会誌第 10 号および第 11 号の編集・発行 (年 2 回発行)
		<ul><li>・電子広報委員会との連携の推進</li><li>・会誌投稿要領策定、著作権の明確化等</li></ul>

# 6.5 事業関係

事業企画委員会 中村英孝理事・委員長 委員 17名	5回他メール審議	講演会・講習会・展覧会・見学会・出版など を通じて、会員をはじめとする研究者・技術 者・一般市民等の地震工学および地震防災に 関する学術ならびに技術の進歩・発展を図 り、地震災害の軽減に関する事項 ・「講演会」「講習会」「見学会」「セミナー」
		の企画・開催(別紙参照) ・ 新しい事業企画の検討
10周年記念事業運営委員会	3回	日本地震工学会創立10周年記念事業企画・立
武村雅之副会長・委員長	他メール審議	案
福和伸夫理事・幹事		・平成23年3月創立10周年記念事業開催予定
倉本 洋理事・幹事		
委員 4名		

# 6.6 調査研究関係

研究統括委員会	2回	①地震工学分野の調査・研究を進展させ、調
東畑郁生副会長・委員長	他メール審議	査・研究成果を広く国内外に還元して社会
委員 3名		の地震防災性向上に関する事項
		②各研究委員会設立、目的達成のための活動
		に対する評価、助言、指導に関する事項
		<ul><li>各研究委員会の活動活発化の支援</li></ul>
		・新規研究委員会の設立
		・海外での地震発生時における地震災害対応
		委員会のサポート
地震災害対応委員会(常置)	1回	国内外の大地震発生時における災害調査支
中埜良昭委員長	他外搬議	援、情報収集支援、調査報告会開催、各学会
翠川三郎理事	1四/ / 田政	調査の調整、突発災害調査費申請支援
飯場正紀理事		・ラクイラ地震・スマトラ沖地震・チリ地震
委員 6名		における、他学会と合同調査団の派遣と報
安良 04		告会の実施
		・地震被害情報、派遣等の情報のHPでの発信
地震被害・復興の記録のアーカイブ	8回	地震被害と復興に関するデータの集約(調
ス構築のための研究委員会	他メール審議	塩炭板音と復興に関するアークの集形 (調  査) やメッセージ発信のあり方を検討。国内
小長井一男委員長	他外番哦	生) ペイッピーン先信のあり刀を検討。国内   外へアーカイブス構築の雛形を示す。
委員 9名		・各地震によって引き起こされた、短期的、
オブ・サ・ーハ・ー 2名		長期的課題の抽出:関東地震を含む地震被
		害報告の原資料の読み解きの過誤、地盤デ
		ータ情報の集約の実態と課題(品質保証、
		メンテナンスの問題) (90%)
		・海外の地震災害調査と復興支援の課題の検
		討 (50%)
		<ul><li>▶活動計画(講習会、ウェブサイト構築など)</li></ul>

		の策定70%。
津波災害の実務的な軽減方策に関 する研究委員会 松富英夫委員長 委員 13名	3回他メール審議	防災施設を中心に据えて、津波災害の軽減方 策の研究・提案 ・年次大会でのオーガナイズド・セッション 開催 ・津波対策施設(和歌山県)の視察
原子力発電所の地震安全問題に関する調査研究委員会 亀田弘行委員長 委員 23名 オブザーバー 3名	4回 他メール審議	原子力発電所全体の最適地震安全性の実現、 ロードマップの作成 ・「最適な地震安全性をどのように実現して いくべきか」のテーマでワークショップを 開催
<b>微動利用技術研究委員会</b> 森 伸一郎委員長 委員 29名	3回他メール審議	地盤、土木、建築の各分野での実務への普及を目指して、現状での微動利用技術の実用上の適用性と要求事項を明らかにする。 ・2008年度に収集した文献リストを参考に、話題提供(一関西の超高密度微動特性、H/Vの頑健性、微動のスペクトル表現、地震計の仕組みと性能限界)による理解の共有・微動利用ガイドライン素案、利用実態調査、同一地点観測に関する議論・意見交換による目標の共有化・地盤、土木構造、建築構造のWGを設置し、文献調査とガイドラインの要件の検討
災害リモートセンシング技術の標準化と高度化に関する研究委員会 松岡昌志委員長 委員 15名	3回他メール審議	リモートセンシング画像やハザード情報の標準化及び調査写真などのアーカイブ化に関する議論を行う。 ・最新の研究動向に関する情報・意見交換・第7回国際ワークショップに参加し、海外研究者との情報交換・2010年ハイチ地震でのリモートセンシング技術を用いた被害判読プロジェクトに参加し、被害分布の早期把握に貢献

# 6.7 共催団体関係委員会

日本地震工学シンポジウム運営委 員会 和田 章委員長 委員 30名	3回	第13回日本地震工学シンポジウム共催開催企画・運営の実施(日本地震工学会(幹事学会)関連学協会 ・13JEES運営委員担当と開催日程、開催会場の決定 ・シンポジウムでの企画について(特別セッション、特別講演、PD、早わかり講座、展示、懇親会)
阪神・淡路大震災15周年フォーラム 組織委員会 総括 濱田政則日本地震工学会会長 鈴木祥之組織委員会委員長 委員 23名	3回他メール審議	・阪神・淡路大震災15周年フォーラム企画(日本地震工学会(幹事学会)他14学協会 (詳細別掲)
高田至郎実行委員会委員長 委員 38名	5回 他メール審議	・阪神・淡路大震災15周年フォーラム開催運 営実施

# 6.8 災害調査団派遣

名称	期日	団員・講師	共催
イタリア・ラクイラ地震に関する合 同調査団派遣	$2009.4.18$ $\sim 4.23$	本会、土木学会 他団長 川島 一彦(元副会 長・東工大教 授)他	日本地震工学会 土木学会 日本建築学会 地盤工学会
五学会連合浜岡原発見学会	2009. 9. 8	本会会員2名参加	日本建築学会 日本地震工学会 地盤工学会 土木学会 日本地震学会
2009 年インドスマトラ沖地震第一 次復旧協力チーム派遣	2009. 10. 15 ~10. 20	団長、濱田政則 会長他	日本地震工学会 NPO「国境なき技師団 土木学会
サモアにおける津波被害調査 津波災害の実務的な軽減方策に関 する研究委員会	2009. 10. 12 ~10. 23	団長、松冨英夫 委員長他委員	日本地震工学会 津波災害の実務的な軽減方 策に関する研究委員会
2009 年インドスマトラ沖地震第二 次復旧協力チーム派遣	2009. 12. 13 ~12. 23	団長、濱田政則 会長他	日本地震工学会 NPO「国境なき技師団 土木学会
2010年 「チリ地震合同調査団」派遣	2010. 3. 27 ~4. 7	団長、北川良和 元会長他	日本地震工学会 (社)土木学会 (社)地盤工学会 (社)日本建築学会

# 6.9 災害調査報告会

名称	期日	会場	講師	参加者
イタリア・ラクイラ地震に関す る調査団報告開催	2009.5.1	土木学会講堂	濱田政則本会会長 他	100名
2009 年インドスマトラ沖地震 復旧支援協力チーム報告会開 催	2009.10.29	土木学会講堂	濱田政則本会会長 他	60 名
チリ地震 4 学会合同調査団報告会開催	2010.04.20	東京大学生産 技術研究所ホ ール	濱田政則本会会長 他	170名

## 7. 事業報告 (講習会・講演会・セミナー・シンポジウム・見学会等)

#### 7.1 研究委員会主催

## (1) 原子力発電所の地震安全問題に関する調査委員会

(=/ /// / / / / / / / / / / / / / / / /	11.4/001-124-7	** <del>***</del>		
名称	期日	会場	講師	参加者
原子力発電所の地震安全問題	2009.12.10	原子力安全基	亀田委員長他	43 名
に関するワークショップ開催		盤機構会議室		

#### 7.2 事業企画委員会主催

名称	期日	会場	講師	参加者
セミナー「構造物の地震リスクマネジメント」開催	2009.04.14	東京・建築会館 ホール	神田 順(東大教授他1名	86名
災害派遣の現場から学ぶリス クマネジメント講座(自衛隊見 学会)	2009.07.14	東京·陸上自衛 隊駐屯地(練 馬)	理事·中村英孝委 員長他	60名
東京都防災展 日本地震工学 会として出展	$2009.08.18$ $\sim 08.21$	東京・新宿駅西 口広場イベン トコーナー	理事·中村英孝委 員長他	延べ <b>5000</b> 名
昇降機における耐震技術と振 動対策の最前線を知る開催	2009.09.17	東京·日本大学 理工学部	理事・中村英孝委 員長、古屋治委員 他	28名
講習会「性能設計に基づく耐震 設計事例の紹介」(土木学会共 催)	2010.01.25	土木学会講堂	森伸一郎(愛媛大 教授)他	72 名
「Eーディフィンス橋梁耐震 実験見学会」	2010.02.26	神戸・(独) 防 災科学技術研 究所兵庫耐震 工学研究セン ター	清水秀丸委員他	本会会員 10名

#### 7.3 本会共催事業

1.0 个五六作事术			
名称	共催団体	期日	会場
理論応用力学講演会(第58回)開催	日本学術会議機械工学 委員会他	2009.6.9~ 6.11	日本学術会議講堂
第 9 回国土セイフティネット シンポジウム〜震度の一歩先 を目指して〜	本会・(独) 防災科学技 術研究所、NPO リアル タイム地震情報利用協 議会	2010.2.4	パシフィコ横浜アネッ クスホール
自然災害軽減のための学協会 の役割と課題	日本学術会議・土木工 学・建築学委員会、本 会他共催	2010.3.31	日本学術会議講堂

#### ■阪神・淡路大震災 15 周年フォーラム開催

阪神・淡路大震災 15 周年フォーラム開催 (13 時 00 分~17 時 30 分)

共催:日本学術会議、(社) 地盤工学会・同関西支部、(財) 震災予防協会、地域安全学会、(社) 土木学会・同関西支部、(社) 日本機械学会、(社) 日本建築学会・同近畿支部、(社) 日本建築構造技術者協会・同関西支部、日本災害情報学会、日本災害復興学会、日本自然災害学会、(社) 日本地震学会、日本地震工学会、(社) 日本都市計画学会・同関西支部

後接: 国土交通省近畿地方整備局、兵庫県、神戸市、大阪府、大阪市、関西地震観測研究協議会、神戸新聞社、NHK 神戸支局

- ■フォーラムプログラム
- 1. 場 所: 神戸国際会議場メインホール (兵庫県神戸市)
- 2. フォーラム次第

総合司会 入江さやか (NHK報道局社会部)

開会式挨拶 鈴木 祥之 フォーラム組織委員会委員長(立命館大学)

大垣眞一郎 日本学術会議副会長

井戸 敏三 兵庫県知事

## 第一部 基調講演

- ・基調講演 [1]: 土岐憲三 (立命館大学)
- ·基調講演 [2]:濱田政則(早稲田大学)
- 第二部 パネルディスカッション

地震災害軽減に向けての学協会の役割と地域社会との連携

#### 司会

翠川三郎(東京工業大学)、副司会 大西一嘉(神戸大学)

#### パネリスト

武村雅之 (鹿島小堀研究室)

梶原浩一((独) 防災科学技術研究所)

越山健治 (人と防災未来センター)

目黒公郎 (東京大学生産技術研究所)

石崎勝伸(神戸新聞社社会部)

桜井誠一(神戸市保健福祉局)

森崎輝行(いきいき下町推進協議会)

黒田裕子 (NPO 阪神高齢者・障害者支援ネットワーク)

フォーラム参加者:550名

## ■関連行事

- ① パネル展示実施:防災技術等の展示
- ② 見学会開催:フォーラム参加者を対象として、JR 鷹取駅から JR 新長田駅までのガイドウォーク 参加者:55名

#### 7.4 本会後援・協賛事業(2009年4月~2010年3月の理事会承認) <発揮>

名称	主催学協会	期日	会場
第 1 回「震災対策技術展/自然災害対策技術展」静岡	「震災対策技術展/自 然災害対策技術展」静 岡会場実行委員会	2009. 4. 24~ 4. 25	ツインメッセ静岡
金井清先生追悼シンポジウム 「地震動研究のこれまでとこ れから」	震災予防協会	2009. 4. 21	東京大学山上会館大会 議室
第3回「地域防災防犯展」大阪	大阪国際見本市委員会	2009. 6. 4~ 6. 5	インティクス大阪
平成 20 年度岩手・宮城内陸地 震の被害調査結果に関する報 告会	地盤工学会東北支部	2009. 6. 13	せんだいメディアパー ク
公開講演会「新潟県中越沖地震 と柏崎刈羽原子力発電所の建 物・構築物」	日本学術会議	2009. 7. 28	日本学術会議講堂
「我が家の地震と水害から守る」無料講演会係を横断的に評する指標の確立に向けて-	地盤工学会	2009. 9. 5	東京大学本郷キャンパ ス武田ホール

創立15周年記念事業 国際 シンポジウム」一持続的社会 のための地震応答制御建築物 に関する国際シンポジウム—	日本免震構造協会	2009. 9. 16~ 9. 18	東大生産技術研究所コ ンベンションホール
新潟県中越沖地震2周年シン ポジウム	日本活断層学会	2009. 11. 7	東洋大学白山キャンパス
第3回耐震グランプリ	日本耐震グランプリ実 行委員会	2009. 11. 16	日本都市センター会館
第 14 回震災対策技術展/自然 災害対策技術展 横浜	震災対策技術展/自然 災害対策技術展横浜会 場実行委員会	2010. 2. 4 ~5	横浜国際会議場(パシフィコ横浜
第 29 回震災予防協会講演会 「日本における震災予防 130 年の歴史と展望」	震災予防協会	2010. 2. 5	横浜国際会議場(パシフィコ横浜
NPO法人国境なき技師団第 5回定例セミナー	第5回定例セミナー	2010. 3. 12	土木学会会議室

# <協賛>

活断層の情報を建築設計やま ちづくりにどう活かすか	日本建築センター	2009. 6. 18	住宅金融支援機構すまいホール
No.09-59 講習会 構造解析の ための有限要素法入門	日本機械学会	2009. 7. 30~ 31	横浜国立大学総合研究棟6階607室
2009 年度計算力学技術者(CAE 技術者)認定事業	日本機械学会	2009. 9. 19	全国会場
第9回SEGJ国際シンポジウム「Imaging and Interpretation -Seience and Technology for Sustainable Development-	物理探査学会	2009. 10. 12 ~10. 14	北海道大学学術交流会館
地震防災フォーラム 2010	関西地震観測研究協議 会	2010. 1. 8	建築交流館グリーンホール

## 8. 国際交流事業

# IAEE支援事業

- (1) 各国代表 (National Delegates) および理事の確認の支援
- (2) World Listの作成・支援
- (3) IAEE事務局および日本代表の支援活動について検討・実施
  - ・NPO法人としての認証取得準備支援

# 9. 建策・進言・要望・提言

(1) 総務省消防庁国民保護・防災部長 幸田雅治殿「震度情報ネットワークの更新に関わる要望書」提出 濱田政則会長(2009年6月26日)

## 10. 報告書・資料集

#### 10.1 会誌・報告書・資料集

2009. 07. 31	日本地震工学会誌No. 10
2010. 01. 31	日本地震工学会誌No. 11
2009. 11. 12	日本地震工学会大会梗概集(2009)
2009. 07. 13	イタリア・ラクイラ地震災害・4 学会合同調査報告書
2010. 1. 25	性能設計に基づく耐震設計事例の紹介 (CD-ROM 付)

## 11. 会員数の動向

#### 11.1 会員数移動(2009年4月~2010年3月現在/4月16日/理事会承認による)

種別適用	名誉会員	正会員	学生会員	合計	法人会員
入会		+43	+87	+130	
転格		+7	-7	0	
復活		+4		+4	
退会	-2 (逝去)	-39	-7	-48	-3
除名		-29	-30	-59	
小計	-2	-14	+43	+27	-3
本年度-会員数	14	1135	123	1272	88
前年度-会員数	16	1149	80	1245	91
増減	-2	-14	+43	+27	-3

## 11.2 名誉会員(平成22年3月末現在 名誉会員14名)

規約第 13 条 (名誉称号) この会の目的達成に多大の貢献をしたもの、または地震工学あるいは 地震防災に関する学術・技術の進歩発展に功績顕著なものに、総会の議決を経て、名誉会員の称 号をおくることができる。逝去者 2 名 (年度中届出)

逝去者 名誉会員 志賀敏男 殿 2009年10月19日逝去 名誉会員 田中貞二 殿 2010年01月09日逝去

名誉会員(14名)(推挙年順かつ五十音順・敬称略)

2006年推举 篠塚正宣 柴田 碧 田治見 宏 田村重四郎 山田善一 吉見吉昭

2008年推举 青山博之 石原研而 和泉正哲 太田 裕 岡田恒男 柴田明徳

柴田拓二 伯野元彦

# 12. 監事監査会に関する事項

実施年月日	監査項目等	実施場所
2009. 4. 23	1. 平成20年度事業報告の監査 2. 平成20年度収支決算書の監査	建築会館会議室

# 13. 会計税理士定期監査に関する事項

実施年月日	監査項目	実施場所
2009. 4. 13	1. 日計・月次・現金・預金通帳・会計帳簿定期検 査実施 2. 平成20年度決算書作成	本会事務所
5. 15	日計・月次・現金・預金通帳・会計帳簿定期検査	本会事務所
6. 16	日計・月次・現金・預金通帳・会計帳簿定期検査	本会事務所
7. 14	日計・月次・現金・預金通帳・会計帳簿定期検査	本会事務所
9. 15	日計・月次・現金・預金通帳・会計帳簿定期検査	本会事務所
10. 14	日計・月次・現金・預金通帳・会計帳簿定期検査	本会事務所
12. 08	日計・月次・現金・預金通帳・会計帳簿定期検査	本会事務所
2010. 02. 12	日計・月次・現金・預金通帳・会計帳簿定期検査	本会事務所
03. 18	日計・月次・現金・預金通帳・会計帳簿定期検査	本会事務所

# 14. 寄付に関する事項

日本地震工学シンポジウム運営委員会から300,000円の寄付を受ける

**15. 役員等** (2010年3月31日現在)

役 職	氏 名	就任年月	担当職務	現職
会長	濱田政則	2008. 6. 1	総括	早稲田大学理工学術院 教授
次期会長	久保哲夫*	2009. 6. 1	総括	東京大学大学院 教授
副会長	武村雅之	2008. 6. 1	事業・10 周 年記念事業	(株) 小堀鐸二研究所 副所長
副会長	吉田 望	2008. 6. 1	総務・会計	東北学院大学工学部 教授
副会長	中島正愛*	2009. 6. 1	国際・会員	京都大学防災研究所 教授
副会長	東畑郁生*	2009. 6. 1	学術 調査研究	東京大学大学院 教授
理事	犬飼伴幸	2008. 6. 1	総務	(株) 竹中工務店技術研究所建設 技術開発部 研究主任
同	中村孝明*	2009. 6. 1	総務	㈱篠塚研究所 主席研究員
同	佐藤清隆	2008. 6. 1	会計	(財)電力中央研究所地球工学研 究所領域リーダー上席研究員
司	高田 一*	2009. 6. 1	会計	横浜国立大学大学院 教授
同	金子美香	2008. 6. 1	会員	清水建設 (株) 技術研究所次世 代構造技術センターグループ長
同	保井美敏*	2009. 6. 1	会員	戸田建設㈱技術研究所 構造グ ループ主管
同	栗田 哲*	2009. 6. 1	学術	東京理科大学工学部 教授
同	藤田 聡*	2009. 6. 1	学術	東京電機大学工学部 教授
同	境 有紀*	2009. 6. 1	情報	筑波大学大学院 教授
同	大堀道広	2008. 6. 1	情報	海洋研究開発機構海洋工学セン ター 技術研究主任
同	中村英孝	2008. 6. 1	事業	(独)原子力安全基盤機構耐震 安全部 調査役
同	芳村 学	2008. 6. 1	事業	首都大学東京大学院都市環境科 学研究科 教授
同	福和伸夫	2008. 6. 1	事業	名古屋大学大学院環境学研究科 教授
同	倉本 洋*	2009. 6. 1	事業	大阪大学大学院 教授
同	翠川三郎	2008. 6. 1	調査研究	東京工業大学大学院総合理工学 研究科 教授
同	飯場正紀*	2009. 6. 1	調査研究	(独)建築研究所構造研究グルー プ 上席研究員

# 監事

監事	高田至郎	2008. 6. 1	イラン・アザド大学科学研究セ ンター 教授
監事	井上範夫*	2009. 6. 1	東北大学大学院 教授

任期:無印 2008年6月1日~2010年5月31日 \* 印 2009年6月1日~2011年5月31日

## 資料2 法人化準備委員会報告

## 一般社団法人化が会員活動に及ぼす変更点について

来年度計画しております日本地震工学会の一般社団法人化について、会員活動に及ぼす変更点について説明します。

- ◆ <u>総会での議決権、情報提供を受ける権利、学会活動に参加する権利</u>は従来と変わりません。【定款(案)第5条】
- ◆ 総会定足数、役<u>員選挙の実施方法、会費の納入期間</u>について変更が生じます。

#### 1) 総会定足数【定款(案)第16条】

現任意団体の総会定足数は**議決権数の1/3**となっていますが、法人化後には**1/2となります**。総会成立のため会員皆様の総会への出席をお願いいたし、ご欠席の場合は委任状の提出をお願いいたします。

#### 2) 役員選挙の実施方法

役員選挙は**2年に1度**、選挙管理委員会の運営により、**次期会長候補と監事候補の選挙を実施**いたします。次期会長等役員が決定するまでの手順は以下の通りです。

- ① 役員候補推薦委員会は候補者を選定し、選挙管理委員会に推薦します。また、立候補を希望する者(正会員)は、直接選挙管理委員会に立候補する旨を届け出します。
- ② 選挙管理委員会は、全社員(会員と同格)による選挙を実施します。
- ③ 理事会は選挙結果を受け、会長候補を含めた次期理事候補・監事候補者の選出を行います。
- ④ 通常総会は理事会より新年度(次期)の理事候補者・監事候補者の名簿の提出を受け、 総会議決により理事と監事を選任いたします。
- ⑤ 通常総会を一時中断し、新しい理事による臨時理事会を開催します。臨時理事会は理事の互選により会長を選任します。選任にあたっては、社員による選挙結果を尊重するものとします。選任された会長は理事のなかから副会長を指名し、理事会役員が決まります。
- ⑥ 通常総会を再開し、会員に新しい会長・副会長を報告します。

以上です。なお、**本年度(平成 21 年度)は**、新法人への移行を受け選挙制度が変更しますので、現任意団体の規約下での次期会長・副会長・監事の**選挙は実施いたしません**。

#### 3) 会費の納入期間【定款(案)第12条】

現任意団体では、会費の支払猶予期間を8ヶ月としていますが、新法人では、これを6

**ヶ月に変更**いたします。納入期間を過ぎた会費未納者は、会員としての権利の内、情報提供を受ける権利、学会活動に参加する権利を停止します。

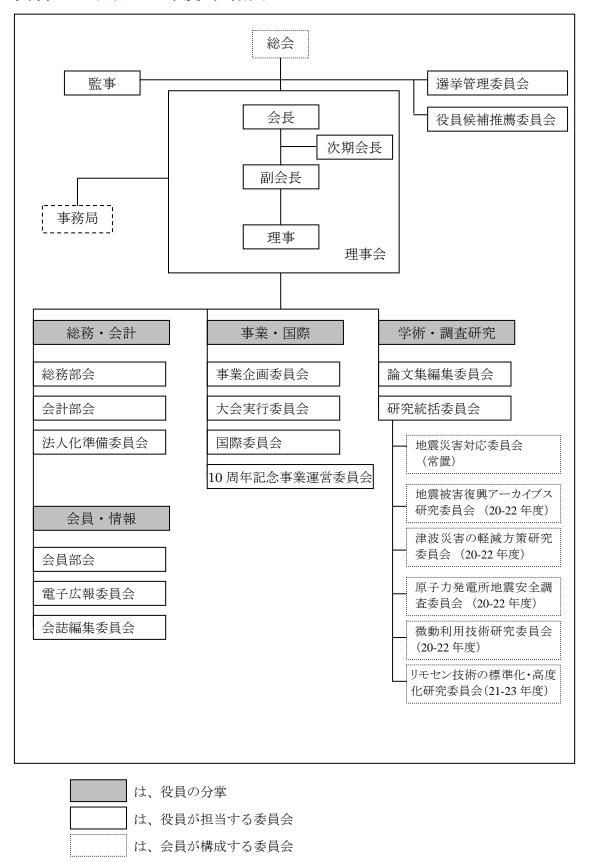
参考までに、現任意団体での役員の任期、選任方法について説明します。

現任意団体の規約下では、毎年、次期会長候補・副会長・監事の選挙を実施しています。 会長任期1年、次期会長任期1年、副会長任期2年、監事任期2年で次期会長と会長は同一人が継続しております。一般社団法人化後は、次期会長制度を廃止し、会長任期を2年とし、副会長は会長が指名することになります。これにより、選挙対象役員は、会長と監事となります。任期はどちらも2年ですので、役員選挙は2年に1度の実施となります。

新法人化の初年度(22年度)においては、平成21年度の次期会長が、新法人の平成22年度の会長に1年間就任いたします。平成22年度に、新法人の規約下において平成23年度から2年任期の会長候補者と監事候補者の選挙を実施いたします。

現任意団体では、役員候補推薦委員会から推薦(他薦)された候補者に対して選挙を行ってまいりました。新法人では、会員の自薦による役員選挙への立候補を可能とする方針で「選挙規程」を準備中です。

資料3 平成21年度 組織図



# 資料4 日本地震工学会 平成21年度役員分掌

井上 範夫

監事

会技	資田 次期会長	久保 哲夫				下	線は新任理事
	第一副会長	(事業・10周年記念事業	〕武村	雅之		••••••	
				事	理事(企画事業)	中村	英孝(JNES)
				事	理事(年次大会 09)	芳村	学 (首都大)
				事	理事( <u>地震工学シンポジウム・</u> 10 周年記念事業)	福和	伸夫 (名大)
				事	理事(地震工学シンポジウム・10 周年記念事業)	<u>倉本</u>	洋(大阪大)
	第二副会長	(総務・会計 <u>・情報</u> )	吉田	望			
				総利	理事(運営・役員候補推薦・法人化)	犬飼	伴幸(竹中工務店)
				総利	理事(運営・選挙管理・役員候補推薦・電子広報)	<u>中村</u>	孝明(篠塚研)
				総系	会計理事(法人化)	佐藤	清隆 (電中研)
				会計	理事(法人化)	高田	一 (横浜国大)
				情報	理事(電子広報)	大堀	道広(JAMSTEC)
				情報	理事(会誌)	<u>境</u>	有紀(筑波大学)
	第三副会長	(国際・会員)	中島	正愛			
				学行	理事(国際)	藤田	聡 (東京電機大)
				会員	理事(選挙管理・法人化)	金子	美香 (清水)
				会員	理事(法人化)	保井	美敏(戸田建設)
	第四副会長	(学術・調査研究)	東畑	郁生			
				学行	理事(論文集)	栗田	哲 (東京理科大)
				調金	研究理事(研究統括・災害)	翠川	三郎 (東工大)
				調金	研究理事(研究統括・災害)	飯場	正紀 (建築研究所)
監事	高田 至郎						

# 資料5 平成21年度 委員会名簿

(平成21年10月26日現在)

## 選举管理委員会

委員長 第1回委員会で互選

委員 日比野浩(大成建設)、岡野創(鹿島建設)、金子美香(理事、清水建設)、

中村孝明 (理事、篠塚研)

(任期:平成21年6月1日~平成22年5月31日)

# 役員候補推薦委員会

委員長 第1回委員会で互選

委員 一井康二 (広島大学)、犬飼伴幸 (理事、竹中工務店)、

大友敬三 (電力中央研究所)、植竹富一 (東京電力)、

小林信之(青山学院大学)、西田哲也(秋田県立大学)、原田隆典(宮崎大学)、

諸井孝文 (鹿島建設)

(任期:平成20年6月1日~平成22年5月31日)

高宮進(国土技術政策総合研究所)

(任期:平成21年6月1日~平成22年5月31日)

新井洋(建築研究所)、川口淳(三重大学)、坂田弘安(東京工業大学)、

田蔵隆 (清水建設)、中村孝明 (理事、篠塚研)、

中山学(防災科学技術研究所)、野畑有秀(大林組)

(任期:平成21年6月1日~平成23年5月31日)

#### 法人化準備委員会

委員長 濱田政則(会長、早稲田大学)

委員 吉田望(副会長、東北工業大学)、中島正愛(副会長、京都大学)、

犬飼伴幸 (理事、竹中工務店)、中村孝明 (理事、篠塚研究所)、

勝俣英雄(大林組)、石川祐(清水建設)、坂本成弘(大成建設)、

鈴木康嗣(鹿島建設)、佐藤清隆(理事、電力中央研究所)、

高田一 (理事、横浜国立大学)、金子美香 (理事、清水建設)、

保井美敏 (理事、戸田建設)

(任期:平成21年6月1日~平成22年5月31日)

オブザーバー 鴫原毅 (日本地震工学会)

## 電子広報委員会

委員長 大堀道広(海洋研究開発機構)

(任期:平成20年6月1日~平成22年5月31日)

委員 新井 洋(建築研究所)、小野祐輔(京都大学)、勝俣英雄(大林組)、

神野達夫(広島大学)、塩原等(東京大学)、武村雅之(副会長、鹿島建設)、

丸山喜久(千葉大学)、盛川仁(東京工業大学)、

吉田望(副会長、東北学院大学)

(任期:平成20年6月1日~平成22年5月31日)

# 会誌編集委員会

委員長 境 有紀(理事、筑波大学)

(任期:平成21年6月1日~平成23年5月31日)

副委員長 田村良一(篠塚研究所)

(任期:平成21年6月1日~平成23年5月31日)

幹事 大原美保(東京大学)

(任期:平成21年6月1日~平成22年3月31日)

青木 繁 (東京都立産業技術高等専門学校)

(任期:平成20年6月1日~平成22年3月31日)

藤田香織 (東京大学)

(任期:平成21年6月1日~平成23年5月31日)

委員 佐藤 清(大林組)、森川信之(防災科学技術研究所)

(任期:平成20年6月1日~平成22年3月31日)

野津 厚(港湾空港技術研究所)、豊岡亮洋(鉄道総合技術研究所)、

引田智樹(鹿島建設)、川島 豪(神奈川工科大学)

(任期:平成21年4月1日~平成23年3月31日)

# 事業企画委員会

委員長 中村英孝(原子力安全基盤機構)

(任期:平成20年6月1日~平成22年5月31日)

副委員長 有賀義明(弘前大学)

(任期:平成21年6月1日~平成22年5月31日)

委員 安西綾子(中央復建コンサルタンツ)、古川裕紀(ヤクモ)、

(任期:平成19年6月1日~平成22年5月31日)

東知宏(東京海上日動リスクコンサルティング)

(任期:平成19年12月12日~平成22年5月31日)

大原美保(東京大学)、遠藤一郎(大成基礎設計)、

清水秀丸(防災科学技術研究所)、飛田哲男(京都大学)、

一井康二 (広島大学)、川久保政茂 (円石コンサルタント)

(任期:平成20年6月1日~平成22年5月31日)

平井俊之 (ニュージェック)、冨健一 (パシフィックコンサルタンツ)、 福喜多輝 (清水建設)

(任期:平成21年6月1日~平成23年5月31日)

## 大会実行委員会(2009)

委員長 芳村学(理事、首都大学東京)

(任期:平成21年2月19日~平成22年3月31日)

幹事 北山和宏(首都大学東京)

(任期:平成21年2月19日~平成22年3月31日)

委員 青木繁(都立産業技術工業高専)、秋田知芳(千葉大学)、

和泉信之(千葉大学)、市古太郎(首都大学東京)、

小田義也(首都大学東京)、鹿嶋俊英(建築研究所)、

高木次郎(首都大学東京)、長島文雄(首都大学東京)、

中林一樹(首都大学東京)、中村孝也(首都大学東京)、

見波進(首都大学東京)、山村一繁(首都大学東京)

(任期:平成21年2月19日~平成22年3月31日)

犬飼伴幸 (理事、竹中工務店)、中村孝明 (理事、篠塚研究室)、

盛川仁(東京工業大学)

(任期: 平成 21 年 6 月 1 日~平成 22 年 3 月 31 日)

オブザーバー 鴫原毅 (日本地震工学会)

#### 国際委員会

委員長 藤田 聡(理事、東京電機大学)

幹事 皆川佳祐(東京電機大学)

委員 川島一彦(東京工業大学)、小長井一男(東京大学)、

小檜山雅之(慶応大学)、斉藤大樹(建築研究所)、

横井俊明(建築研究所)、芳村 学(理事、首都大学東京)、

安田 進(東京電機大学)

(任期:平成21年6月1日~平成23年5月31日)

#### 10周年記念事業運営委員会

委員長 武村雅之(副会長、鹿島建設)

(任期:平成21年6月1日~平成22年5月31日)

幹事 福和伸夫(理事、名古屋大学)

(任期:平成21年6月1日~平成22年5月31日)

倉本洋 (理事、大阪大学)

(任期:平成21年6月1日~平成23年5月31日)

委員 犬飼伴幸(理事、竹中工務店)、中村英孝(理事、原子力安全基盤機構)

(任期:平成21年6月1日~平成22年5月31日)

中村孝明(理事、篠塚研究所)、境有紀(理事、筑波大学)

(任期:平成21年6月1日~平成23年5月31日)

## 論文集編集委員会

委員長 栗田哲(東京理科大学)

(任期:平成21年6月1日~平成23年5月31日)

副委員長 伊津野和行(立命館大学)

(任期:平成21年6月1日~平成23年5月31日)

高橋徹 (千葉大学)

(任期:平成21年6月1日~平成23年5月31日)

委員 片岡俊一(弘前大学)、紺野克昭(芝浦工業大学)、庄司学(筑波大学)、

樋口一(大林組)、村上正浩(工学院大学)、

香川敬生(地域地盤環境研究所)、渡邉鉄也(埼玉大学)、

鹿島俊英 (建築研究所)、松岡昌志 (産業技術総合研究所)

(任期: 平成21年6月1日~平成22年5月31日)

丸山收(東京都市大学)、一井康二(広島大学大学院)、

山田雅行(ニュージェック)、五十田博(信州大学)、

大野晋(東北大学大学院)、中村友紀子(新潟大学)、酒向裕司(鹿島建設)

(任期:平成21年6月1日~平成23年5月31日)

## 研究統括委員会

委員長 東畑郁生(副会長、東京大学)

(任期:平成21年6月1日~平成23年5月31日)

委員 翠川三郎 (理事、東京工業大学)

(任期:平成21年6月1日~平成22年5月31日)

飯場正紀 (理事、建築研究所)

(任期:平成21年6月1日~平成23年5月31日)

#### 地震災害対応委員会 (常置)

委員長 中埜良昭(東京大学)

(任期:平成20年6月1日~平成23年5月31日)

副委員長 清野純史(京都大学)

(任期:平成20年6月1日~平成23年5月31日)

委員 小長井一男(東京大学)

(任期:平成20年6月1日~平成23年5月31日)

三輪滋 (飛島建設)

(任期:平成21年6月1日~平成22年5月31日)

翠川三郎 (理事、東京工業大学)

(任期:平成20年6月1日~平成22年5月31日)

飯場正紀 (理事、建築研究所)

(任期:平成21年6月1日~平成23年5月31日)

## 地震被害・復興の記録のアーカイブス構築のための研究委員会

(平成20年6月1日~平成23年5月31日)

委員長 小長井一男 (東京大学)

幹事

委員 池田隆明(飛島建設)、アイダン オメル(東海大学)、

高梨和光 (清水建設)、武村雅之 (鹿島建設)、中埜良昭 (東京大学)、

三輪滋(飛島建設)、安田進(東京電機大学)、若松加寿江(関東学院大学)

(任期:平成20年6月1日~平成23年5月31日)

オブザーバー 工藤一嘉(日本大学)、嶋直子(エヌ・ワイ・ケイ)

## 津波災害の実務的な軽減方策に関する研究委員会

(平成20年6月1日~平成23年5月31日)

委員長 松冨英夫(秋田大学)

幹事 有川太郎 (港湾空港技術研究所)

委員 石川忠志(鹿島建設)、今村文彦(東北大学)、運上茂樹(土木研究所)、

奥田泰雄(建築研究所)、佐藤勝弘(アルファ水エコンサルタンツ)、

小路泰広(国土技術政策総合研究所)、高梨和光(清水建設)、

玉田 崇(いであ株式会社)、中埜良昭(東京大学)、

中山哲嚴(水産総合研究センター)、藤間功司(防衛大学校)、

(任期:平成20年6月1日~平成23年5月31日)

#### 原子力発電所の地震安全問題に関する調査研究委員会

(平成20年10月1日~平成23年3月31日)

委員長 亀田弘行(京都大学名誉教授)

副委員長 高田毅士(東京大学)

幹事中村英孝(原子力安全基盤機構)、日比野憲太(原子力安全基盤機構)

委員 石川裕(清水建設)、今塚善勝(大林組)、香川敬生(鳥取大学)、

鈴木浩平(首都大学東京)、中村晋(日本大学)、藤田聡(東京電機大学)、

藤原広行(防災科学技術研究所)

(任期:平成20年10月1日~平成23年3月31日)

秋山伸一(伊藤忠テクノソリューションズ)、有賀義明(弘前大学)、

落合兼寛(日本原子力技術協会)、小泉孝之(同志社大学)、

中島正人 (電力中央研究所)、

伯野元彦(攻玉社工科短期大学)、村上通章(構造計画研究所)、

安中正 (東電設計)、吉田郁政 (武蔵工業大学)、吉田望 (東北学院大学)

(任期:平成20年10月1日~平成23年3月31日)

菊地優(北海道大学)

(任期:平成21年2月5日~平成23年3月31日)

蛯沢勝三 (原子力安全基盤機構

(任期:平成21年8月1日~平成23年3月31日)

オブザーバー 尾之内厚志 (中部電力)、菊池利喜郎 (東京電力)、

中村 隆夫 (関西電力)

# 微動利用技術研究委員会

(平成21年1月1日~平成23年5月31日)

委員長 森伸一郎 (愛媛大学)

副委員長 盛川仁(東京工業大学)

委員 新井洋(建築研究所)、上林宏敏(大阪工業大学)、

和仁晋哉(中央復建コンサルタンツ)、片岡俊一(弘前大学)、

紺野克昭(芝浦工業大学)、斉藤知生(清水建設)、

佐藤勉 (システムアンドデータリサーチ)、末冨岩雄 (日本技術開発)、

高井伸雄(北海道大学)、長郁夫(産業技術総合研究所)、年縄巧(明星大学)、

飛田潤(名古屋大学)、中村充(大林組)、林宏一(応用地質)、

林康裕(京都大学)、原田隆典(宮崎大学)、

バンダリ、ネトラ・プラカシュ (愛媛大学)、古川愛子 (九州大学)、

三上藤美 (東邦アーステック)、宮腰研 (地域地盤環境研究所)、

森井雄史(京都大学)、矢部正明(長大)、保井美敏(戸田建設)、

山本英和(岩手大学)、横井俊明(建築研究所)

山田雅行(ニュージェック)、

11/17

山中浩明(東京工業大学)、

#### 災害リモートセンシング技術の標準化と高度化に関する研究委員会

(平成21年4月1日~平成23年3月31日)

(任期:平成21年2月5日~平成23年5月31日)

委員長 松岡昌志 (産業技術総合研究所)

副委員長 越村俊一(東北大学)

幹事 三浦弘之(東京工業大学)

委員 清野純史(京都大学)、庄司 学(筑波大学)、高島正典(富士常葉大学)、

高瀬嗣郎(応用地質)、中井正一(千葉大学)、能島暢呂(岐阜大学)、

丸山喜久 (千葉大学)、三冨 創 (アジア航測)、翠川三郎 (東京工業大学)、

村尾 修 (筑波大学)、山崎文雄 (千葉大学)

(任期:平成21年4月1日~平成23年3月31日)